事務事業No 事業名

182 大気汚染防止事業

[長期総合計画]	j	
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

[事業基本情報]

- 7 A A T I T I I							
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
ず来四次(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務	0			
事来区为(2)	その他						
	会計	一般会計					
	款	衛生費					
会計・	項	環境保全費					
予算区分	目	環境保全政策費					
	大事業		環境保全対策事業				
	中事業	大気汚染防止事業					

事業種別		継続		関連個別計画	和歌山市環境基本計画		
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	根来 一智	435-1114
事業実施の根拠法令	大気汚染防止法			関連課			

1	事業內容								
Г	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)				全体事業概要				
Г	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				大気汚染防止法、和歌山県公害	防止条例に基づく届出等の受理	、測定及び規制を実施し、大		
				気汚染物質の抽	非出実態を把握し、環境保全に	資する。また、工場・事業場の	公害苦情処理に迅速に指導等		
		を行う。法定の	受託事務。						
-	Į.								
1	東								
Á	· ·								
L		4							
		令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度		
		大気汚染防止法等に基づく届	大気汚染防止流	去等に基づく届	大気汚染防止法等に基づく届	大気汚染防止法等に基づく届	大気汚染防止法等に基づく届		
		出等の受理。工場等のばい煙	出等の受理。	E場等のばい煙	出等の受理。工場等のばい煙	出等の受理。工場等のばい煙	出等の受理。工場等のばい煙		
		発生施設の窒素酸化物等の測	発生施設の窒素	素酸化物等の測	発生施設の窒素酸化物等の測	発生施設の窒素酸化物等の測	発生施設の窒素酸化物等の測		
1	<u> </u>	定及び必要な指導を行う。ま	定及び必要な打	旨導を行う。ま	定及び必要な指導を行う。ま	定及び必要な指導を行う。	定及び必要な指導を行う。		
] 	事	た、空間線量の測定を実施す	1	り測定を実施す	た、空間線量の測定を実施す				
7	<u>\$</u>	る。	る。		る。				
-1	1/		1						

事業費等 (千円)		令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和0	8年度
デ 木貝 寸	(111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業	 	4, 865	4,650	4, 967	4, 712	3, 737	3, 485	3, 733	0	3, 733	0
伸び率	(%)	16. 9%	6%	2.1%	1.3%	△24.8%	△26%	△0.1%	△100%	0%	0%
	正規職員	7, 835	8, 533	8, 720	9, 109	9, 039	9, 740	10, 130	0	10, 130	0
人件費	正規職員以外	976	976	950	0	968	0	0	0	0	0
	小計	8, 811	9, 509	9, 670	9, 109	10, 007	9, 740	10, 130	0	10, 130	0
国庫引	5出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	出金	1,000	942	1,000	855	1,000	792	1,000	0	1,000	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その	り他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	(税等)	3, 865	3, 708	3, 967	3, 857	2, 737	2, 693	2, 733	0	2, 733	0
所要人数	正規職員	1.01	1. 10	1. 12	1. 17	1. 16	1. 25	1. 30	0.00	1. 30	0.00
(人)	正規職員以外	0. 19	0. 19	0. 19	0.00	0. 19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算	内訳	検査分析委託	料 3,640千円								

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	延べ監視施設数		目標値	41	41	41	41	41
		施設	実績値	41	41	41		
活動指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	工場・事業場等の規制基準順守率(大気汚染)		目標値	100	100	100	100	100
		%	実績値	100	100	100		
成果指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

0 7	DC - 70 1 41.	工 (运当体们 區)					
市	充実						
事業内容の	現状維持			0			
	縮小						
方 向 性	廃止						
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投え	人の方向性			

担当課評価の根拠	法定受託事務であり、現在の監視測定の地点数で引き続き実態把握に努める。
見直し・改善内容	引き続き適正な監視測定を実施する。

事務事業No事業名

280 騒音·振動·悪臭防止事業

28U

[長期総合計画]]	
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

[事業基本情報]

2 XICCE 1 113 1143								
事業区分(1)	事業経費	0						
事未色力(1)	その他							
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務	0				
事来四月(4)	その他							
	会計	一般会計						
	款	衛生費						
会計・	項	環境保全費						
予算区分	目	環境保全政策費						
	大事業		環境保全対策事業					
	中事業	騒音・振動・悪臭防止事業						

事業種別	継続	関連個別計画	環境基本計画
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課 根来 一智 435-1114
事業実施の根拠法令	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法	関連課	

1 事業内容

		争耒20谷											
Г		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要						
Г		生活環境に関する測定、工場	場・事業場敷地境界における	騒音・振動・	環境基本法、	環境基本法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法及び和歌山県公害防止条例に基づく届出等の受理、測							
		悪臭物質の測定及び必要な技	指導を行うことにより環境保	全に資する。	定及び監視指導を行い、生活環境の騒音、振動、悪臭の状況を把握し、環境保全に資する。また、工場・								
					事業場の公害	苦情処理に迅速に指導等を行う 。	。法定受諾事務。						
導	事業												
署													
I E													
	9												
\vdash	1	令和04年度		令和05	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度					
		/	騒音規制法等に基づく届出等	騒音規制法等に	基づく届出等	騒音規制法等に基づく届出等	騒音規制法等に基づく届出等	騒音規制法等に基づく届出等					
			の受理。環境騒音や道路交通	の受理。環境騒	番音や道路交通	の受理。環境騒音や道路交通	の受理。環境騒音や道路交通	の受理。環境騒音や道路交通					
			振動の測定、工場・事業場敷	振動の測定、エ	場・事業場敷	振動の測定、工場・事業場敷	振動の測定、工場・事業場敷	振動の測定、工場・事業場敷					
事	F		地境界における騒音・振動・	地境界における	5騒音・振動・	地境界における騒音・振動・	地境界における騒音・振動・	地境界における騒音・振動・					
事業内容	色		悪臭物質の測定及び必要な指	悪臭物質の測定	E及び必要な指	悪臭物質の測定及び必要な指	悪臭物質の測定及び必要な指	悪臭物質の測定及び必要な指					
字	字 1		導を行う。	導を行う。		導を行う。	導を行う。	導を行う。					

2 事業コスト

事業費等	(手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和0	8年度
サ 木貝寸	(111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業	 	3, 595	3, 115	3, 326	2, 996	3, 374	3, 465	3, 282	0	3, 282	0
伸び率	(%)	0.4%	5. 6%	△7. 5%	△3.8%	1.4%	15. 7%	△2.7%	△100%	0%	0%
	正規職員	7, 835	8, 533	8, 720	9, 109	9, 039	9, 740	10, 130	0	10, 130	0
人件費	正規職員以外	1, 489	1, 489	1, 449	1, 449	1, 477	0	0	0	0	0
	小計	9, 324	10, 022	10, 169	10, 558	10, 516	9, 740	10, 130	0	10, 130	0
国庫ラ	5出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その	り他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	(税等)	3, 595	3, 115	3, 326	2, 996	3, 374	3, 465	3, 282	0	3, 282	0
所要人数	正規職員	1. 01	1. 10	1. 12	1. 17	1. 16	1. 25	1. 30	0.00	1. 30	0.00
(人)	正規職員以外	0. 29	0. 29	0. 29	0. 29	0. 29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		検査分析委託	料 1,260千円	調査委託	料 1,520千円						

	日保及0:关例							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
Г	騒音・振動・悪臭 工場事業場延べ監視地点数		目標値	91	91	91	91	91
		件	実績値	91	91	91		
活動指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	環境騒音、阪和自動車道騒音及び道路交通振動測定実施地点数		目標値	27	27	27	27	27
		件	実績値	27	27	27		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
Г	環境基準達成率 (騒音)		目標値	95	95	95	95	95
		%	実績値	94. 1	94. 1	100		
成果			達成度(%)	99. 1%	99. 1%	105. 3%	%	%
指標	騒音・振動・悪臭 工場事業場規制基準順守率		目標値	100	100	100	100	100
標		%	実績値	98. 9	100	100		
			達成度(%)	98.9%	100%	100%	%	%

_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

0 7 区 2 万 内区 (区 3 床 日 間)												
市	充実											
事業内容の	現状維持			0								
	縮小											
方 向 性	廃止											
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大							
			コスト投え	人の方向性								

担当課評価の根拠	法定受託事務であり、現在の監視測定の地点数で引き続き適正な実態把握に努める。
見直し・改善内容	引き続き適正な監視測定を実施する。

事務事業No 事業名

342 水質汚濁防止事業

[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政 策 4		自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

[事業基本情報]

2 7 71 7 117 117 2										
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費							
事来四月(1)	その他									
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務	0						
事来四万(2)	その他									
	会計	一般会計								
	款	衛生費								
会計・	項		環境保全費							
予算区分	目		環境保全政策費							
	大事業		環境保全対策事業							
	中事業		水質汚濁防止事業							

事業種別	継続			関連個別計画	和歌山市環境基本計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	根来 一智	435-1114	
事業実施の根拠法令	水質汚濁防止法、土壌汚染対策法等関		関連課					

1		事業内容											
Γ		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カゝ)			全体事業概要						
Г		水質汚濁防止法に基づく、	公共用水域の常時監視及び工	場排水の規制	水質汚濁防止液	去に基づく、公共用水域の常時	監視及び工場排水の規制・指導	[、生活排水対策の推進並びに					
		・指導、生活排水対策の推済	進並びに土壌汚染対策を行う	ことにより、	土壌汚染対策を行うことにより、環境保全に資する。また、瀬戸内海の環境保全を図るため、関係府県市								
		環境保全に資する。			と広域な相互	と広域な相互協力を行う。法定受託事務(協議会関係)。							
1	事												
]	事業目												
Á	ń												
\vdash	4		↑ Tro4 C E	A T 0	s for the	A 5400 F F	A THORFT IN	A 5-00 F F					
			令和04年度	令和0		令和06年度	令和07年度	令和08年度					
			公共用水域の常時監視、工場	公共用水域の常	常時監視、工場	公共用水域の常時監視、工場	公共用水域の常時監視、工場	公共用水域の常時監視、工場					
			排水の規制及び必要な指導、	排水の規制及び	『必要な指導、	排水の規制及び必要な指導、	排水の規制及び必要な指導、	排水の規制及び必要な指導、					
			有害物質による地下水汚染の	有害物質による	る地下水汚染の	有害物質による地下水汚染の	有害物質による地下水汚染の	有害物質による地下水汚染の					
1	基		実態調査、海水浴場の水質調	実態調査、海ス	k浴場の水質調	実態調査、海水浴場の水質調	実態調査、海水浴場の水質調	実態調査、海水浴場の水質調					
]	事業勺容		査等を実施する。	査等を実施する	5.	査等を実施する。	査等を実施する。	査等を実施する。					
1	容												
-1		/											

事業費等	: (手田)	令和0	4年度	令和0	令和05年度		令和06年度		7年度	令和08	年度
尹 术貝寸	. (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	7, 488	7, 076	7, 305	7, 091	6, 775	7, 465	7, 524	0	7, 524	
伸び率	(%)	△0.7%	△0.4%	△2.4%	0. 2%	△7. 3%	5. 3%	11.1%	△100%	0%	(
	正規職員	7, 835	853, 270	8, 720	9, 109	9, 039	9, 740	10, 130	0	10, 130	
人件費	正規職員以外	976	976	950	950	968	0	0	0	0	
	小計	8,811	854, 246	9, 670	10, 059	10, 007	9,740	10, 130	0	10, 130	•
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その	か 他	0	0	0	0	0	0	224	0	0	
一般財源	〔(税等)	7, 488	7, 076	7, 305	7, 091	6, 775	7, 465	7, 300	0	7, 524	
所要人数	正規職員	1.01	110.00	1. 12	1. 17	1. 16	1. 25	1. 30	0.00	1. 30	0.0
(人)	正規職員以外	0. 19	0. 19	0. 19	0. 19	0. 19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
主な予算内訳		検査分析委託	料5,712千円								

J	口は及び大順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	公共用水域(河川・海域)監視地点数		目標値	37	37	37	37	37
		地点	実績値	37	37	37		
活動			達成度(%)	100%	100%	%	%	%
指標	工場・事業場に対する監視延べ排水口数		目標値	162	163	161	162	162
標		個	実績値	162	163	161		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	公共用水域(河川)環境基準達成率		目標値	100	100	100	100	100
4-		%	実績値	88. 9	88. 9	100		
			達成度(%)	88. 9%	88. 9%	100%	%	%
成果指標			目標値					
保			実績値					
			達成度(%)					

_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	D4 . 74 . 4	T (177 11 HVH)	· III				
市	充実						
事業内容の	現状維持			0			
容の	縮小						
方 向 性	廃止						
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大		
		コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	法定受託事務であり、公共用水域の監視に努めるとともに、継続して工場等の発生源の監視・指導を行う。
見直し・改善内容	引き続き適正な監視測定を実施する。

事務事業No 事業名

840 環境啓発事業

[長期総合計画]

分野別目標

政 策

施 策

取組方針

2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
1	環境の保全
1	生活環境の保全

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費			
ず来区が(1)	その他					
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務			
事来四月(2)	その他					
	会計	一般会計				
	款	衛生費				
会計・	項	環境保全費				
予算区分	目	環境保全政策費				
	大事業		環境保全政策事業			
	中事業	環境啓発事業				

事業種別	継続		関連個別計画	環境基本計画、生活排水対策推進計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	根来 一智	435-1114
事業実施の根拠法令				関連課		•	

1 事業内容

	. 事 業 /										
ſ		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カュ)	全体事業概要						
Γ		より良い地域環境及び地球	環境を確保するため、環境の	保全及び創造	各種啓発事業を実施し、市民や事業者等に環境保全の重要性を伝える。生活排水対策指導員を委嘱し、生						
1		について啓発事業を推進する	る。		活排水対策に関	関する市民への啓発を行う。ま	た、小学校等への出前講座を行	· う。			
1											
1	事										
	事業目的										
	日的										
	- 5										
1											
1											
t		/	令和04年度		5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度			
			啓発活動の実施(街頭啓発、	啓発活動の実施	面(街頭啓発、	啓発活動の実施(街頭啓発、	啓発活動の実施(街頭啓発、	啓発活動の実施(街頭啓発、			
			環境パネル展、イベントへの	環境パネル展、	イベントへの	環境パネル展、イベントへの	環境パネル展、イベントへの	環境パネル展、イベントへの			
1			ブース出展)。	ブース出展)。		ブース出展)。	ブース出展)。	ブース出展)。			
1	事		環境保全学習会の開催。	環境保全学習会	€の開催。	環境保全学習会の開催。	環境保全学習会の開催。	環境保全学習会の開催。			
1	事業内容		「和歌山市の環境」作成・配	「和歌山市の雰	環境」作成・配	「和歌山市の環境」作成・配	「和歌山市の環境」作成・配	「和歌山市の環境」作成・配			
1	容		布。	布。		布。	布。	布。			
			出前講座の実施。	出前講座の実施	<u></u>	出前講座の実施。	出前講座の実施。	出前講座の実施。			
			生活排水対策指導員会議の開	生活排水対策指	導員会議の開	生活排水対策指導員会議の開	生活排水対策指導員会議の開	生活排水対策指導員会議の開			
1		/	催。	催。		催。	催。	催。			
1		/									

2 事業コスト

重	等 (千円)	令和0	4年度	令和0	令和05年度		令和06年度		7年度	令和08年度	
于木具、	F (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	1, 964	1, 913	2, 117	1, 960	1, 370	1, 253	944	0	944	0
伸び翠	≤ (%)	△6.6%	4%	7.8%	2. 5%	△35.3%	△36. 1%	△31.1%	△100%	0%	0%
	正規職員	4, 344	2, 871	1, 947	3, 037	3, 429	3, 273	3, 351	0	3, 351	0
人件費	正規職員以外	1, 102	1, 102	1,090	1,090	1, 089	1, 089	1, 089	0	1, 089	0
	小計	5, 446	3, 973	3, 037	4, 127	4, 518	4, 362	4, 440	0	4, 440	0
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県3	で出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ	の他	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0
一般財源	泵 (税等)	1, 964	1, 913	2, 117	1, 960	1, 370	1, 193	944	0	944	0
所要人数	正規職員	0. 56	0. 37	0. 25	0.39	0.44	0.42	0.43	0.00	0.43	0.00
(人)	正規職員以外	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.00	0.48	0.00
主な予算	章内訳	報償金150千円	円、消耗品費67	78千円、印刷製	本費400千円						

U								
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	啓発事業実施回数		目標値	6	5	5	5	5
		回	実績値	5	4	4		
活動			達成度(%)	83. 3%	80%	80%	%	%
指標	環境保全学習会の開催回数		目標値	1	1	1	1	1
標		回	実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	環境保全学習会参加人数		目標値	30	30	30	30	30
		人	実績値	27	14	25		
成果指標			達成度(%)	90%	46. 7%	83. 3%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	0	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

- -	DC - 70 1 41.	T (1771 MM)	1 11-47				
市	充実						
事業内容の	現状維持			0			
	縮小						
方向性	廃止						
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大		
		コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民、事業者に対する様々な啓発活動を継続して行うことで、意識を向上させ、環境保全活動のすそ野を広げることができる。また、河川の汚濁負荷量の約6割を占める生活排水の対策を継続して推進することで環境の保全に努める。
見直し・改善内容	生活排水対策について、啓発チラシの内容をリニューアルし、一層の普及促進を図っていく。

事務事業No 事業名

910		環境基本計画推進事業
[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力がる

[長期総合計画]	l	
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政 策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

[事業基本情報]

2 - 2/2								
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費					
ず来区が(1)	その他							
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務					
事来四月(4)	その他							
	会計	一般会計						
	款	衛生費						
会計•	項	環境保全費						
予算区分	目	環境保全政策費						
	大事業		環境保全政策事業					
	中事業	環境基本計画推進事業						

事業種別	継続		関連個別計画	環境基本計画、地球温暖化対策実行計画等			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	根来 一智	435-1114
事業実施の根拠法令	根拠法令		関連課			•	

1		事業的容								
Γ		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	か)	全体事業概要					
Г	Ī	環境基本計画の目標達成の	ため、各部局との調整を図り	、総合的、計	環境基本計画の	の目標達成のため、各部局との	調整を図り、総合的、計画的に	環境施策を推進していく。ま		
		画的に環境施策を推進していく。			た市民、事業を	者、行政3者の事業計画を進め	ていくためのフォローアップを	行う。		
1	丰									
3	事業目内									
1	∄ 									
"	וייו									
\vdash	\dashv		令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度		
			環境基本計画の推進及び進行	環境基本計画の		環境基本計画の推進及び進行	環境基本計画の推進及び進行	環境基本計画の推進及び進行		
			管理等に係る事務	管理等に係る事		管理等に係る事務	管理等に係る事務	管理等に係る事務		
			官任寺に休る事務	自任寺に承る。	P-195	官任寺に依る事務	官任寺に保る事務	官任寺に休る事務		
	.									
= 3	事									
12	事業村									
7	容									
-1										

2 事業コスト

事業費等	(手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和06年度		令和07年度		令和08年度	
于 术具寸	- (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	268	107	268	97	122	95	291	0	291	(
伸び率	5 (%)	133%	21.6%	0%	△9.3%	△54. 5%	△2.1%	138. 5%	△100%	0%	09
	正規職員	6, 982	6,672	6, 773	7, 085	9, 039	7, 637	7, 870	0	7,870	(
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
	小計	6, 982	6, 672	6, 773	7, 085	9,039	7, 637	7,870	0	7,870	(
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
そ(の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
一般財源	〔(税等)	268	107	268	97	122	95	291	0	291	(
所要人数	正規職員	0. 90	0.86	0.87	0. 91	1. 16	0. 98	1. 01	0.00	1. 01	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		附属機関委員	報酬58千円								

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	推進部会、協議会、審議会等開催回数		目標値	5	5	3	5	5
		回	実績値	3	5	3		
活動指標			達成度(%)	60%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	海・山・川などの豊かな自然環境に対する市民満足度		目標値	56. 56	57. 42	58. 28	59. 14	60.00
		%	実績値	62. 6	62	76.8		
成果指標			達成度(%)	110.7%	108%	131. 8%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

<u> </u>					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	0	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	0 / 及0%同位(四国旅前面)								
事	充実								
事業内容の	現状維持			0					
容の	縮小								
方向性	廃止								
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大				
	コスト投入の方向性								

担当課評価の根拠	「第3次和歌山市環境基本計画」の目標達成のため、引き続き各部局との調整を図り、総合的、計画的に環境保全施策を推進する必要がある。
見直し・改善内容	平成30年に策定した「第3次和歌山市環境基本計画」の「主要施策」と、関連する個別計画の運用による取組について整理を図っていく。

事務事業No事業名

911 化学物質対策事業

[長期総合計画]	[長期総合計画]								
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち							
政 策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成							
施策	1	環境の保全							
取組方針	1	生活環境の保全							

[事業基本情報]

E 3 Necta 1 113 IPG								
事業区分(1)	事業経費	0						
事未四月(1)	その他							
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務	0				
サポ四万(4)	その他							
	会計	一般会計						
	款	衛生費						
会計・	項	環境保全費						
予算区分	目	環境保全政策費						
	大事業		環境保全対策事業					
	中事業	化学物質対策事業						

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市環境基本計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	根来 一智	435-1114
事業実施の根拠法令	ダイオキシン類対策特別措置法			関連課			

1 事業内容

	事業內谷												
	(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要							
Г	工場・事業場の監視及び指導	尊を行うとともに、環境中の	ダイオキシン	環境基本法、ス	大気汚染防止法、ダイオキシン	類対策特別措置法、水質汚濁防	i止法に基づく届出等の受理、						
	類及び有害大気汚染物質の	常時監視を実施することによ	り生活環境の	測定及び規制を実施し、大気・水質汚染物質の監視及び実態調査や有害物質等の状況を把握し、環境保全									
	保全を図る。			に資する。また、工場・事業場の公害苦情処理に迅速に指導等を行う。法定受託事務。									
事業目的													
事業内容		水、土壌中のダイオキシン類 調査等を実施する。また、工 場等の排出ガス及び排出水の	大気環境、公式水、土壌中の名 調査等を実施する 場等の排出ガス	ダイオキシン類 する。また、エ ス及び排出水の		調査等を実施する。また、工	水、土壌中のダイオキシン類 調査等を実施する。また、エ						

2 事業コスト

事業費等	: (手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和07	7年度	令和08	令和08年度	
17/05/17 (1117)		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事	業費	10, 058	9, 807	10, 058	10, 489	10, 911	10, 883	11, 250	0	11, 250	(
伸び率	3 (%)	0%	0.4%	0%	7%	8. 5%	3.8%	3.1%	△100%	0%	09	
	正規職員	7, 835	8, 533	8, 720	9, 109	9, 039	9, 740	10, 130	0	10, 130	(
人件費	正規職員以外	514	514	500	500	510	0	0	0	0	(
	小計	8, 349	9, 047	9, 220	9, 609	9, 549	9, 740	10, 130	0	10, 130	(
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
その	の他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
一般財源	(税等)	10, 058	9, 807	10, 058	10, 489	10, 911	10, 883	11, 250	0	11, 250	(
所要人数	正規職員	1.01	1. 10	1. 12	1. 17	1. 16	1. 25	1. 30	0.00	1.30	0.00	
(人)	正規職員以外	0.10	0. 10	0. 10	0.10	0. 10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
主な予算内訳		検査分析委託	料10,850千円									

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	有害物質調査地点数		目標値	11	11	11	11	11
		地点	実績値	11	11	11		
活動			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指標	ダイオキシン類の調査地点数		目標値	42	42	42	42	42
標		地点	実績値	42	42	42		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	環境基準達成率		目標値	100	100	100	100	100
4-		%	実績値	100	100	100		
成果指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
保			実績値					
			達成度(%)					

_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

0 7	DC - 70 1 41.	T (1771 MM)	1 11-47					
市	充実							
事業内容の	現状維持			0				
	縮小							
方 向 性	廃止							
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大			
		コスト投入の方向性						

担当課評価の根拠	法定受託事務であり、現在の測定の地点数で実態把握に努める。
見直し・改善内容	引き続き適正な監視測定を実施する。

事務事業No事業名

1048 大気常時監視事業

1048

[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費					
事来区分(1)	その他							
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	0				
事来四月(2)	その他							
	会計	一般会計						
	款		衛生費					
会計・	項		環境保全費					
予算区分	目		環境保全政策費					
	大事業		環境保全対策事業					
	中事業	大気常時監視事業						

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市環境基本計画			
事業年度	無し ~ 無し		担当課・担当課長・Tel	環境政策課 根来 一智 435-1114			
事業実施の根拠法令	大気汚染防止法		•	関連課		•	-

1 事業内容

1	事業内容										
Г	(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要					
Г	大気汚染の状況把握と大気	環境保全対策のための基礎資	料を得る目的	市内の主要地点	点に設置された測定局から二酸	化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子	·状物質、オキシダント、一酸				
	で常時監視を実施すること	により、大気汚染の未然防止	に努める。	化炭素、微小粒子状物質 (PM2.5) 等のデータを常時監視し、大気汚染状況を的確に把握することで、大							
				気汚染の未然	気汚染の未然防止に努める。法定受託事務。						
事	:										
事業目的											
的	ı										
L											
	/	令和04年度	令和05	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度				
		市内11測定局で微小粒子状物	市内11測定局で	·微小粒子状物	市内11測定局で微小粒子状物	市内11測定局で微小粒子状物	市内11測定局で微小粒子状物				
		質等を測定し、クラウドシス	質等を測定し、	クラウドシス	質等を測定し、クラウドシス	質等を測定し、クラウドシス	質等を測定し、クラウドシス				
		テムを利用してデータ収集す	テムを利用して	データ収集す	テムを利用してデータ収集す	テムを利用してデータ収集す	テムを利用してデータ収集す				
事		ることで、大気汚染状況を的	ることで、大気	気汚染状況を的	ることで、大気汚染状況を的	ることで、大気汚染状況を的	ることで、大気汚染状況を的				
事業内容		確に把握し、常時監視を総合	確に把握し、常	常時監視を総合	確に把握し、常時監視を総合	確に把握し、常時監視を総合	確に把握し、常時監視を総合				
容		的に実施する。	的に実施する。		的に実施する。	的に実施する。	的に実施する。				
- 1	1/										

2 事業コスト

事業費等	: (手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和07	7年度	令和08	8年度
37/2 3 (113)		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		49, 180	46, 547	51, 812	48, 443	54, 190	51, 096	62, 267	0	62, 267	C
伸び率	5 (%)	△1.3%	0.4%	5.4%	4. 1%	4.6%	5. 5%	14.9%	△100%	0%	0%
	正規職員	7, 835	8, 533	8, 720	9, 109	9, 039	9, 740	10, 130	0	10, 130	0
人件費	正規職員以外	976	976	950	950	968	0	0	0	0	0
	小計	8, 811	9, 509	9, 670	10, 059	10, 007	9, 740	10, 130	0	10, 130	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	5, 200	0	5, 200	0	0	0	0	0	0	0
その	か 他	20	21	20	21	20	20	19	0	19	0
一般財源	〔(税等)	43, 960	46, 526	46, 592	48, 422	54, 170	51, 076	62, 248	0	62, 248	0
所要人数	正規職員	1.01	1. 10	1. 12	1. 17	1. 16	1. 25	1.30	0.00	1.30	0.00
(人)	正規職員以外	0. 19	0. 19	0. 19	0. 19	0. 19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算	内訳	機械等保守委	託料28, 391千F	円、検査分析委	託料9,900千円	、業務委託料	4,433千円				

U	日体及び大阪							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	延べ有効項目数		目標値	37	37	37	37	37
		項目	実績値	37	37	37		
沿 重			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指標	特別監視日数 (光化学オキシダント)		目標値	148	152	151	150	150
一一		H	実績値	148	152	151		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	環境基準達成率(大気)		目標値	95	95	95	95	95
		%	実績値	88	88	83		
財			達成度(%)	92.6%	92. 6%	97. 4%	%	%
指標	有効測定局達成率 (大気)		目標値	100	100	100	100	100
//		%	実績値	100	100	100		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	0 7 及00万円圧(延当帐前 個)										
市	充実										
事業内容の	現状維持			0							
	縮小										
方 向 性	廃止										
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大						
			コスト投え	人の方向性							

担当課評価の根拠	法定受託業務であり、平成18年度に適正配置による測定局舎の統廃合を完了させ、効率的な監視体制としており、継続して適性な実態把握に努める。
見直し・改善内容	測定機器の劣化状況等に応じ、計画的に更新していく。

事務事業No 事業名

201 自然環境保護事業

[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	2	自然環境の保全と創造

[事業基本情報]

E 3 Nette 1 113 193									
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費						
事来四月(1)	その他								
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務						
事来四万(4)	その他								
	会計	一般会計							
	款		衛生費						
会計•	項		環境保全費						
予算区分	目		環境保全政策費						
	大事業	環境保全政策事業							
	中事業		自然環境保護事業	<u> </u>					

事業種別	種 別 継続		関連個別計画	和歌山市環境基本計画			
事業年度	年度 無し ~		無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	根来 一智	435-1114
事業実施の根拠法令	施の根拠法令			関連課	企画政策課		

事業内容

1	事 業乃谷					1 事業的容										
	(「誰・何」をどういう状!	態にするための事業	カュ)				全体事業概要									
Г	それぞれの地域に応じた自然環境の	保全を行い、自然との	のふれあいの	それぞれの地域に応じた自然環境の保全を行い、自然とのふれあいの推進を図るとともに、希少動植物の												
	推進を図るとともに、希少動植物の何	保全・保護に努める。)	保全・保護に刻	努める。											
事	<u></u>															
事業																
台	5															
L																
		令和04年度	令和0	5年度	令和06年度		令和07年度	令和08年度								
	保全区域	杖の浚渫作業等。和歌	保全区域の浚港	業作業等。和歌	保全区域の浚渫作業等。	和歌	保全区域の浚渫作業等。和歌	保全区域の浚渫作業等。和歌								
	山市民の)森づくり事業の実施	山市民の森づく	くり事業の実施	山市民の森づくり事業の	実施	山市民の森づくり事業の実施	山市民の森づくり事業の実施								
	。自然公	園の現状把握及び適	。自然公園の野	見状把握及び適	。自然公園の現状把握及	及び適	。自然公園の現状把握及び適	。自然公園の現状把握及び途								
事	正な利用	月の推進。	正な利用の推進	進。	正な利用の推進。		正な利用の推進。	正な利用の推進。								
事業 学																
Ź	·															
	1/															

事業費等	: (手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和08	8年度
事未其分(111)		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	1, 868	1, 444	1, 551	1, 651	2, 100	2,024	2, 164	0	2, 164	(
伸び率	5 (%)	0.2%	21.7%	△17%	14. 3%	35. 4%	22.6%	3%	△100%	0%	0%
	正規職員	6, 982	6, 672	6, 773	7, 085	9, 039	7, 637	7, 870	0	7,870	C
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
	小計	6, 982	6, 672	6, 773	7, 085	9, 039	7, 637	7,870	0	7,870	(
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
県支	出金	0	0	0	177	500	424	500	0	500	(
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
その	の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
一般財源	(税等)	1, 868	1, 444	1, 551	1, 474	1,600	1,600	1,664	0	1,664	C
所要人数	正規職員	0. 90	0.86	0.87	0. 91	1. 16	0. 98	1. 01	0.00	1. 01	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		業務委託料1,	034千円、保全	水路等清掃委託	托料250千円						

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	森づくり体験会等開催数		目標値	2	2	2	2	2
		回	実績値	2	2	2		
活動指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	森づくり体験会等参加者数		目標値	80	80	80	80	80
		人	実績値	36	68	71		
成果指標			達成度(%)	45%	85%	89%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	0	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	0 7 及び分内区(四当株町 間)										
事	充実										
事業内容の	現状維持			0							
容の	縮小										
方向	廃止										
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大						
		コスト投入の方向性									

担当課評価の根拠	水源地の確保は長期的な事業であり、直接の効果が見えにくいが、継続して水環境保全の重要性を啓発することにより、地球環境の保全につなげていくことが重要である。また、本市の豊かな自然環境保全のため、引き続き自然公園の現状を把握し、海域・山林等の環境保全に努めるとともに、快適で適正な利用を推進することが重要である。
見直し・改善内容	継続した取り組みが重要な事業であるため、現在の保全活動を維持しつつ、状況に応じた見直しを実施する。

事務事業No

245		環境マネジメントシステム推進事業
[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	3	地球環境の保全

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
事来四月(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来四月(4)	その他						
	会計	一般会計					
	款	衛生費					
会計・	項		環境保全費				
予算区分	目		環境保全政策費				
	大事業		環境保全政策事業				
	中事業	環境マネ	ジメントシステム	推進事業			

事業種別	継続			関連個別計画	環境基本計画、地球温暖化対策実行計画		
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	根来 一智	435-1114
事業実施の根拠法令			関連課				

1 事業内容

	- 								
Г	(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要			
	独自の環境マネジメントシ	ステムを運用し、環境への負	荷削減を図る	独自の環境マ	ネジメントシステムを運用し、	環境への負荷削減を図る。			
	o								
重									
事業目									
目的									
l BA									
\vdash		人 和0.4左左	A-5H-01	- / es	△和00万亩	△和07万亩	△和00万亩		
	/	令和04年度	令和0		令和06年度	令和07年度	令和08年度		
		環境負荷の削減に向けて、全	環境負荷の削減	域に向けて、全	環境負荷の削減に向けて、全	環境負荷の削減に向けて、全	環境負荷の削減に向けて、全		
		職員が一体となり、環境に配	職員が一体とな	より、環境に配	職員が一体となり、環境に配	職員が一体となり、環境に配	職員が一体となり、環境に配		
		慮した事務・事業を推進する	慮した事務・事	事業を推進する	慮した事務・事業を推進する	慮した事務・事業を推進する	慮した事務・事業を推進する		
事		環境マネジメントシステムを	環境マネジメン	ノトシステムを	環境マネジメントシステムを	環境マネジメントシステムを	環境マネジメントシステムを		
業		運用し、継続的改善に努める	運用し、継続的	り改善に努める	運用し、継続的改善に努める	運用し、継続的改善に努める	運用し、継続的改善に努める		
事業内容		0			0	0	0		
	1/								

2 事業コスト

事業費等(千円)		令和0	4年度	令和05年度		令和06年度		令和0	7年度	令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業	 と 費	389	311	392	304	384	280	355	0	355	(
伸び率	(%)	4%	8. 4%	0.8%	△2.3%	△2%	△7. 9%	△7.6%	△100%	0%	09
	正規職員	6, 982	6, 672	6, 773	7, 085	9, 039	7, 637	7,870	0	7, 870	C
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
	小計	6, 982	6, 672	6, 773	7, 085	9, 039	7, 637	7,870	0	7, 870	0
国庫ラ	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
その	の他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
一般財源	(税等)	389	311	392	304	384	280	355	0	355	0
所要人数	正規職員	0. 90	0.86	0.87	0. 91	1. 16	0. 98	1. 01	0.00	1. 01	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算	内訳	報償金142千円	9、EMSサポ	ート委託料203	3千円						

ட்	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
\vdash	各種研修実施回数	714	目標値	5	5	5	5	5
		回	実績値	7	6	6		
活動			達成度(%)	140%	120%	120%	%	%
指標	内部監査実施回数		目標値	1	1	1	1	1
標		回	実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	内部監査での不適合件数		目標値	0	0	0	0	0
		件	実績値	0	0	0		
別果			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	0	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	D4 . 74 . 4	T (177 11 HVH)	· III					
市	充実							
事業内容の	現状維持			0				
容の	縮小							
方 向 性	廃止							
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大			
		コスト投入の方向性						

担当課評価の根拠	環境マネジメントシステムの効果的な運用のため、引き続き環境に配慮した事務・事業を推進する必要がある。
見直し・改善内容	内部監査の方法や各課の取組状況の集計方法について、毎年見直しを実施し、効率化を図っていく。

事務事業No事業名

629 地球温暖化対策事業

629

[長期総合計画]	j	
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	3	地球環境の保全

[事業基本情報]

2 4 7/14							
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
ず来四次(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来区为(2)	その他						
	会計	一般会計					
	款		衛生費				
会計・	項		環境保全費				
予算区分	目		環境保全政策費				
	大事業		環境保全政策事業				
	中事業	地球温暖化対策事業					

事業種別	継続			関連個別計画	和歌山市地球温暖化対策実行計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	池端 宗敏	435-1114	
事業実施の根拠法令	F		関連課					

1 事業内容

1		事業内容										
Γ		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	か)			全体事業概要					
Г		地球温暖化対策実行計画(事務事業編及び区域施策編)	の目標を達成	地球温暖化対策	(事務事業編)の目標	標を達成するため、各部局と連	携・協力し、環境に配慮した				
		するため、市民・事業者・	民間団体等との連携、協働を	進める。	行動の徹底を	行動の徹底を図る。地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の目標を達成するため、市民・事業者・『						
					団体等との連携、協働を進める。							
1	事											
]	事 と 目 り											
Á	ń											
\perp	_	,	1 A 7 A 1111			A - 4 - 111	A 4	A 4 (1)				
		/	令和04年度	令和0		令和06年度	令和07年度	令和08年度				
			和歌山市地球温暖化対策実行	和歌山市地球沿	显暖化対策実行	和歌山市地球温暖化対策実行						
			計画の推進及び進行管理。地	計画の推進及び	び進行管理。地	計画の推進及び進行管理。地						
			球温暖化対策の推進に関する	球温暖化対策の	の推進に関する	球温暖化対策の推進に関する						
1	F		法律及びエネルギーの使用の	法律及びエネル	レギーの使用の	法律及びエネルギーの使用の						
]	事業勺容		合理化に関する法律に基づく	合理化に関する	る法律に基づく	合理化に関する法律に基づく						
1	· 容		報告。	報告。		報告。						
-1		/										

2 事業コスト

事業費等	: (千田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和08	年度
于木貝寸	- (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	475	115	417	275	0	0	0	0	0	
伸び率	3 (%)	1,031%	0%	△12.2%	139. 1%	△100%	△100%	0%	0%	0%	(
	正規職員	6, 982	6, 672	6, 773	7, 085	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	6, 982	6, 672	6, 773	7, 085	0	0	0	0	0	
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その	の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	(税等)	475	115	417	275	0	0	0	0	0	
所要人数	正規職員	0. 90	0.86	0.87	0. 91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
主な予算	內訳	消耗品費298月	F円、印刷製本	費76千円							

<u> </u>	日保及い夫閥							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	温室効果ガス等排出量実態調査件数		目標値	2	2			
		回	実績値	2	2			
活動指標			達成度(%)	100%	100%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	フロン類漏洩報告量(1,000トン-CO2以上の場合報告が必要)		目標値	0	0			
		t-C02	実績値	0	0			
成果指標			達成度(%)	100%	100%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

- 4 N/4 - H1 III					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	DC - 70 1 41.		1 11-47		
串	充実				
事業内容の	現状維持			0	
	縮小				
方向性	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投え	人の方向性	

担当課評価の根拠	地球温暖化対策は長期的に取り組む事業であり、効果が見えにくいが、必要不可欠な事業である。
見直し・改善内容	毎年実態調査を実施し、温室効果ガス削減のための取組について、一層の促進を図っていく。

事務事業No 事業名

再生可能エネルギー推進事業 1179

[長期総合計画] 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち 分野別目標 自然と共生する環境にやさしい社会の形成 政 策 環境の保全 施 策 1 地球環境の保全 取組方針

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
事未四月(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事未四月(4)	その他						
	会計	一般会計					
	款	衛生費					
会計•	項		環境保全費				
予算区分	目		環境保全政策費				
	大事業		環境保全政策事業				
	中事業	再生可	可能エネルギー推進事業				

事業種別	継続			関連個別計画	環境基本計画、地球温暖化対策実行計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	根来 一智	435-1114	
事業実施の根拠法令			関連課		•	•		

1 事業内容

		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要						
Γ		クリーンかつ持続可能なエス	ネルギーである再生可能エネ	ルギーの利用	再生可能エネルギーの利用促進のため、広く市民・事業者への推進啓発を図る。環境にやさしい低公害車								
-		促進や低公害車等の普及促済	進を図る。		の普及・啓発を図る。また、大規模な太陽光発電設備の適正な導入を図る。								
-													
-	事												
-	事業目												
	的												
-													
L													
			令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度					
-			再生可能エネルギーの利用促	再生可能エネバ	レギーの利用促	再生可能エネルギーの利用促	再生可能エネルギーの利用促	再生可能エネルギーの利用促					
-			進及び電動車等の普及促進。	進及び電動車等	等の普及促進。	進及び低公害車の普及促進。	進及び電動車等の普及促進。	進及び電動車等の普及促進。					
-			「和歌山市環境と大規模な太	「和歌山市環境	竟と大規模な太	「和歌山市環境と大規模な太	「和歌山市環境と大規模な太	「和歌山市環境と大規模な太					
-	事		陽光発電設備設置事業との調	陽光発電設備記	2置事業との調	陽光発電設備設置事業との調	陽光発電設備設置事業との調	陽光発電設備設置事業との調					
-	事業内容		和に関する条例」にかかる設	和に関する条例	別」にかかる設	和に関する条例」にかかる設	和に関する条例」にかかる設	和に関する条例」にかかる設					
-	容		置許可手続き。	置許可手続き。		置許可手続き。	置許可手続き。	置許可手続き。					
-													
- 1		/											

事業費等	: (手田)	令和0	4年度	令和0	令和05年度		令和06年度		7年度	令和08	3年度
于水具 T	. (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	1, 129	5, 617	4, 278	3, 321	402	28	395	0	395	
伸び率	5 (%)	△1.1%	908. 4%	278. 9%	△40. 9%	△90.6%	△99. 2%	△1.7%	△100%	0%	(
	正規職員	6, 982	6,672	6, 773	7, 085	9, 039	7, 637	7,870	0	7, 870	
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	6, 982	6, 672	6, 773	7, 085	9, 039	7, 637	7,870	0	7,870	
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その	か 他	0	0	3, 136	2,880	0	0	0	0	0	
一般財源	〔(税等)	1, 129	5, 617	1, 142	441	402	28	395	0	395	
所要人数	正規職員	0. 90	0.86	0. 87	0. 91	1. 16	0. 98	1. 01	0.00	1.01	0.0
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
主な予算内訳 附属機関委員報酬294											

<u> </u>	日保及U·夫順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	電力の調達に係る環境配慮方針の改定件数		目標値	1	1	1	1	1
_		旦	実績値	1	1	1		
活動			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指標			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	電力調達件数における環境配慮契約の割合		目標値	100	100	100	100	100
4.		%	実績値	100	100	100		
成果指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

- -	DC - 70 1 41.	T (1771 MM)	1 11-47		
市	充実				
事業内容の	現状維持			0	
	縮小				
方向性	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投え	人の方向性	

担当課評価の根拠	地球にやさしい低炭素社会の実現を目指し、継続して電動車等や太陽光発電の率先導入及び市民への普及啓発と導入支援が必要である。
見直し・改善内容	国の動向や社会情勢の変化等を注視つつ、適宜見直しを実施していく。

事務事業No 事業名

22379 脱炭素化推進事業

22019		ル火永心正正于木
[長期総合計画]	j	
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政 策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	3	地球環境の保全

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	管理経費
事未色力(1)	その他	
事業区分(2)	自治事務	法定受託事務
事未四月(4)	その他	
	会計	一般会計
	款	衛生費
会計•	項	環境保全費
予算区分	目	環境保全政策費
	大事業	環境保全政策事業
	中事業	脱炭素化推進事業

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地球温暖化対策実行計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	根来 一智	435-1114
事業実施の根拠法令				関連課			

事業内容

	L	事 莱内谷									
Γ		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カゝ)		全体事業概要					
Γ		省エネルギー化や太陽光発電	電などの再生可能エネルギー	の導入等によ	市の施設等において、率先して脱炭素化への取組を進めるとともに、市民や事業者の脱炭素化への取組に						
		り、和歌山市の脱炭素化の第	実現をめざす。		対して支援や問	啓発を実施する。					
1											
	事										
- 1	事業目的										
П	的										
1											
1											
Γ			令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度			
1			温室効果ガス排出削減に係る	温室効果ガス技	非出削減に係る	温室効果ガス排出削減に係る	温室効果ガス排出削減に係る	温室効果ガス排出削減に係る			
1			機器に対する補助事業の実施	機器に対する神	甫助事業の実施	機器に対する補助事業の実施	機器に対する補助事業の実施	機器に対する補助事業の実施			
1			0	0		0	0	0			
	事										
	事業为										
	容										
1											
1											
1											
1											

2 事業コスト

重 業費/	筝 (千円)	令和0	4年度	令和0	令和05年度		6年度	令和0	7年度	令和08年度	
一	1 (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	0	100, 561	9,000	66, 954	83, 203	132, 788	235, 077	0	134, 484	0
伸びる	图 (%)	0%	0%	0%	△33.4%	824. 5%	98. 3%	182. 5%	△100%	△42.8%	0%
	正規職員	0	5, 663	6, 773	5, 061	15, 818	14, 104	14, 649	0	14, 649	0
人件費	正規職員以外	0	457	0	1,061	1,843	1, 863	3, 725	0	1,863	0
	小計	0	6, 120	6, 773	6, 122	17, 661	15, 967	18, 374	0	16, 512	0
国庫	支出金	0	100, 561	0	57, 954	76, 200	127, 726	191, 988	0	73, 700	0
県国	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ	の他	0	0	9,000	9,000	9, 015	4,650	42, 029	0	42, 029	0
一般財源	原 (税等)	0	0	0	0	△2,012	412	1,060	0	18, 755	0
所要人数	正規職員	0.00	0.73	0.87	0.65	2.03	1.81	1.88	0.00	1.88	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0. 24	0.00	0. 55	0. 95	0. 96	1. 92	0.00	0. 96	0.00
主な予	章内訳	EV自動車導入	促進事業補助金	金9,000千円、	再エネ・省エネ	、設備導入促進	事業補助金73,	700千円			

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	補助事業実施件数		目標値	1	1	2	4	3
>-		件	実績値	1	2	2		
活動指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	補助件数		目標値	2000	30	160	2280	280
4-1		件	実績値	2004	109	156		
成果指標			達成度(%)	100. 2%	181. 7%	97. 5%	%	%
指			目標値					
保			実績値					
			達成度(%)					

_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	0	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	0	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	0	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない		見直しが必要

	20 - 20 1 31	- (1 PICE			
*	充実				0
事業内容の	現状維持				
容の	縮小				
方向性	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投力	人の方向性	

担当課評価の根拠	脱炭素化は長期的な事業であり、直接の効果は見えにくいが、地球環境の保全のため必要不可欠である。
見直し・改善内容	国の交付金等を活用し、温室効果ガスの排出削減のための取組について、一層の推進を図っていく。

事務事業No事業名

913 資源リサイクル事業

913 「長期総合計画」

[長期総合計画]	j	
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	1	ごみ減量の推進

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費					
事未四月(1)	その他							
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務					
事未四月(4)	その他							
	会計	一般会計						
	款		衛生費					
会計•	項		清掃費					
予算区分	目	塵芥処理事業費						
	大事業		塵芥処理事業					
	中事業	資源リサイクル事業						

事業種別		継続		関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画		
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	廃棄物対策課	辻 晃秀	435-1352
事業実施の根拠法令				関連課	収集センター		•

1 事業内容

		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	か)			全体事業概要		
	事業目的	缶・ビン・紙・布等を資源としてリサイクルする。 ◆和04年度 ◆和04年度			循環型社会の形成を目指し、廃棄物の減量と有効利用するため、缶・ビン・紙・布等を中間処理の段階で 資源としてリサイクルするための事業				
-	事業内容		びん 2,060.94トン ペットボトル 1,286.14トン	イクルを行った。 かん 605.49トン びん 1947.44トン 紙 2477.32トン 布 669.52トン ペットボトル	布等のリサ 缶・ヒ してリ 理をす かん びん 紙 布	サイクルするための処	してリサイクルするための処	令和08年度 缶・ビン・紙・布等を資源と してリサイクルするための処 理をする。	

2 事業コスト

車業患等	等 (千円)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和08	3年度
于 木 貝 5	£ (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	74, 308	49, 404	67, 622	42,074	60, 068	39, 213	56, 935	0	56, 935	0
伸び幸	≤ (%)	△11.4%	△11.7%	△9%	△14.8%	△11.2%	△6.8%	△5. 2%	△100%	0%	0%
	正規職員	7, 447	7, 447	6, 929	9, 576	12, 701	7, 325	6, 702	0	0	0
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7, 447	7, 447	6, 929	9, 576	12, 701	7, 325	6, 702	0	0	0
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
た 県	で出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ	の他	962	1, 202	1, 260	1, 795	2, 394	3, 617	3, 524	0	3, 524	0
一般財源	泵 (税等)	73, 346	48, 202	66, 362	40, 279	57, 674	35, 596	53, 411	0	53, 411	0
所要人数	正規職員	0. 96	0. 96	0.89	1. 23	1. 63	0. 94	0.86	0.00	0.00	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳 令和6年度 手数料 40,127千円						_					

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	収集運搬回数		目標値	52	52	52	52	52
		回	実績値	52	52	52		
活動指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	一般廃棄物のリサイクル率		目標値	14. 52	14. 52	14. 52	14. 52	14. 52
		%	実績値	8. 3	8. 0	8. 1		
成果指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

<u> </u>						
評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	0	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	0	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	0	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)		達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	0	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	0	見直しが必要

0 7	DC - 70 1 41.	T (1771 MM)	1 11-47				
市	充実			0			
事業内容の	現状維持						
	縮小						
方 向 性	廃止						
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	平成23年7月から雑がみを紙の一種として分別収集を開始し、収集資源を再生利用する取組が進んでいる。平成28年4月からは分別品目の変更により資源の有効活用を図っている。さらに、平成30年4月に青岸ストックヤードを開設し、市民が自己搬入するごみから資源化可能なものの選別をすることでごみの減量及びリサイクルを推進している。また、市民の自己搬入に対応し、ごみの見える化を進めることでごみ減量に対する意識の向上に寄与している。
見直し・改善内容	平成28年4月からは、今まで分別収集していたプラスチック製容器包装を、週2回の一般ごみとして回収し、焼却することでごみ発電(熱回収)による有効活用を行っている。「青岸ストックヤード」において、かん、びん等の資源搬入に対応するとともに、今まで焼却していた青岸清掃センターに自己搬入されるごみに含まれる資源を選別・ストックするなどにより資源化と、焼却ごみの削減に取り組んでいる。 和歌山市一般廃棄物処理基本計画により、令和2年度を目標として対平成22年度比総ごみ排出量約30%減を目指して様々な取組を行ってきたが、約20%減にとどまった。現在、令和3年3月に策定した第2次和歌山市一般廃棄物処理基本計画で定めた、令和8年度までに1人1日当たりのごみ排出量(資源を除く)を729gにするという新たな数値目標の達成に向け、廃棄物の適正処理と3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、さらなるごみ減量とリサイクルに取り組んでいく必要がある。

事務事業No 事業名

924 ごみ減量推進事業

[長期総合計画]]	
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	1	ごみ減量の推進

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
事業色力(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来区为(2)	その他						
	会計	一般会計					
	款		衛生費				
会計・	項		清掃費				
予算区分	目	清掃総務費					
	大事業		清掃総務事業				
	中事業	ごみ減量推進事業					

事業種別	継続	関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	廃棄物対策課 辻 晃秀 435-1352
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	関連課	

事業内容

	L	事 業 <u></u>											
ſ		(「誰・何」をどう	ういう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要						
Γ		公衆衛生の向上のみならず、	循環型社会の形成を目指し	、ごみ減量を	和歌山市廃棄物	勿減量審議会の開催、幼稚園児	・小学生・各種団体等への出前	講座・説明会の実施、様々な					
1		推進するための企画及び支援	受を行う。		広報媒体(SNS・リリクル通信等)を通じて市民へのごみ減量啓発活動、ごみ減量推進員制度の実施等の								
1					事業によりごみ減量を推進する。								
	事												
	事業目的												
	日的												
	- 5												
1													
1													
ı		令和04年度		令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度					
		/ T	ごみ減量のための啓発・広報	ごみ減量のため	かの啓発・広報	ごみ減量のための啓発・広報	ごみ減量のための啓発・広報	ごみ減量のための啓発・広報					
		/ /	及び支援・補助	及び支援・補助	め 及び支援・補助		及び支援・補助	及び支援・補助					
1													
	事	/ /											
	事業内容	/ /											
-	内宏												
- [ш	/											
		/											
		/											
		/											

事業費等	(手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和0	8年度
于木貝寸	(111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業	 	11, 157	7, 526	7, 748	4, 637	10, 711	8, 172	5, 065	0	5, 065	(
伸び率	(%)	9. 5%	△0.2%	△30.6%	△38. 4%	38. 2%	76. 2%	△52.7%	△100%	0%	0%
	正規職員	37, 157	35, 372	33, 009	31, 608	25, 480	20, 649	19, 091	0	19, 091	0
人件費	正規職員以外	2, 203	2, 203	2, 179	2, 179	2, 177	2,608	2,608	0	2,608	0
	小計	39, 360	37, 575	35, 188	33, 787	27, 657	23, 257	21, 699	0	21, 699	0
国庫之	5出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その	り他	738	445	648	342	515	386	673	0	673	0
一般財源	(税等)	10, 419	7, 081	7, 100	4, 295	10, 196	7, 786	4, 392	0	4, 392	0
所要人数	正規職員	4. 79	4. 56	4. 24	4. 06	3. 27	2. 65	2. 45	0.00	2. 45	0.00
(人)	正規職員以外	0. 96	0. 96	0. 96	0. 96	0. 96	1. 15	1. 15	0.00	1. 15	0.00
主な予算	内訳	令和6年度 淮	∮耗品費1,849 [≤]	千円、印刷製本	費2,077千円、	集団回収奨励	金1,020千円	他			

U								
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
Г	出前講座回数		目標値	100	100	100	100	100
) yer		回	実績値	95	90	95		
活動			達成度(%)	95%	90%	95%	%	%
指標	リリクル通信発刊回数		目標値	3	3	3	3	3
一一楞		回	実績値	3	3	3		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
Г	ごみ総排出量		目標値	113852.01	110606.40	107716. 28	105178.51	103209. 98
		トン	実績値	116188	111490	109427		
成果			達成度(%)	98.0%	99. 2%	98. 4%	%	%
指標	集団回収量		目標値	194	194	194	194	194
標		トン	実績値	142.61	96. 49	69. 4		
			達成度(%)	73. 5%	49.7%	35. 7%	%	%

<u> </u>					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	0	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	0	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	D4 . 74 . 4	T (177 11 HVH)	· III						
市	充実			0					
事業内容の	現状維持								
容の	縮小								
方 向 性	廃止								
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大				
		コスト投入の方向性							

担当課評価の根拠	一般廃棄物処理基本計画において3Rを推進し、令和2年度までに1人1日あたりのごみ排出量(資源を除く)を10年間で約30%削減することを目標としてきた。年々ごみの排出量が減少し、効果が表れているところである。さらにごみ減量を加速させるためには、市民に対して、新たな3R推進の取組を行う必要がある。令和3年度に策定した「第2次和歌山市一般廃棄物処理基本計画」における数値目標「令和8年度までに1人1日あたりのごみ排出量(資源を除く)を729gにする」の達成に向け、使いきり、食べきり、水きり、の3きり運動を推進し、家庭系ごみに含まれる食べ残しや手つかず食品等の削減に積極的に取り組む。
見直し・改善内容	出前講座は、今までの「つれもて分別ごみ減量〜美しい海・山・川の城下町和歌山」、「楽しい紙芝居でわかる!ごみの出し方・減らし方」に加え、平成30年度から「食ロス削減でごみ減量」という新メニューを増やしその充実を図っている。特に、食品ロスの削減に取り組み、ごみ減量を進めるため、地域のごみ減量推進員の方々と連携し、出前講座を積極的に行っていく必要がある。

1/		産業廃業物指導管理事業
[長期総合計画]	j	
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費						
ず来区が(1)	その他								
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務	0					
事来四月(4)	その他								
	会計	一般会計							
	款	衛生費							
会計•	項	清掃費							
予算区分	目		清掃総務費						
	大事業		清掃総務事業						
	中事業	産業	産業廃棄物指導管理事業						

事業種別	継続	ŧ	関連個別計画			
事業年度	無し ~	無し	担当課・担当課長・Tel	廃棄物対策課	辻 晃秀	435-1221
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等 関		関連課			

1	事業内容		事業 內谷											
	(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	か)			全体事業概要								
Г	産業廃棄物等が適正処理を	推進することにより、生活環	境の保全や公	廃棄物処理法	をはじめ廃棄物関連法令(自動	車リサイクル法、建設リサイク	ル法、PCB廃棄物特別措置							
	衆衛生の向上を図る。			法等)によりた	なされる各種許可申請や届出の	受理を行っている。								
				審査等を行う際には、廃棄物の処理状況等を現場で確認し、産業廃棄物の排出事業者や処理業者に対し、										
事	1			必要な指導や原	啓発を行っている。									
事業														
Г		令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度							
		各種法令等に基づく許可申請 各種法		甚づく許可申請	各種法令等に基づく許可申請	各種法令等に基づく許可申請	各種法令等に基づく許可申請							
		の審査や届出の受理に関する	の審査や届出の	り受理に関する	の審査や届出の受理に関する	の審査や届出の受理に関する	の審査や届出の受理に関する							
		業務を行っている。	業務を行ってい	いる。	業務を行っている。	業務を行っている。	業務を行っている。							
事														
事業内容														
Ź	[]													
	/													

事業費等	: (手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和06年度		令和0	7年度	令和08	8年度
于水贝寸	. (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	2,031	465	2, 046	458	2, 375	1,043	1, 769	0	1, 769	
伸び率	(%)	△7.6%	△55. 2%	0.7%	△1.5%	16. 1%	127. 7%	△25.5%	△100%	0%	0
	正規職員	63, 298	53, 524	53, 717	55, 118	40, 753	38, 883	40, 753	0	40, 753	
人件費	正規職員以外	4, 382	9, 309	4, 334	4, 334	9, 218	3, 492	4, 330	0	4, 330	
	小計	67, 680	62, 833	58, 051	59, 452	49, 971	42, 375	45, 083	0	45, 083	
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金		889	472	724	825	527	582	637	0	637	
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その	か 他	5, 411	0	4,601	0	4, 093	3, 343	4,017	0	4,017	
一般財源	〔(税等)	△4, 269	△7	△3, 279	△367	△2, 245	△2,882	△2, 885	0	△2, 885	
所要人数	正規職員	8. 16	6. 90	6. 90	7. 08	5. 23	4. 99	5. 23	0.00	5. 23	0.0
(人)	正規職員以外	1. 91	2. 87	1. 91	1. 91	2. 87	1.54	1. 91	0.00	1. 91	0.0
主な予算内訳		令和6年度 孝	委託料590千円	需用費649千	円 報償費156	千円					

<u> </u>	日保及U· 大 順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	産業廃棄物処理業者、自動車リサイクル法登録・許可業者からの申請		目標値					
	及び届出等の件数	件	実績値	311	230	257		
活動			達成度(%)	%	%	%	%	%
指標	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出事業者と建設リサイクル法		目標値					
標	に基づく届出の合計件数	件	実績値	2965	2849	2883		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
	苦情対応率(分母:産業廃棄物の排出事業者及び処理業者に対する苦		目標値	100	100	100	100	100
4.	情数 分子: 苦情に対応した数)	%	実績値	100	100	100		
果			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
果指標			目標値					
保			実績値					
			達成度(%)					

_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	0	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	0	適正		負担は求められない	見直しが必要

0 7	DC 70 1 3 1	T (1771 MM)	1 11-47		
事	充実				
事業内容の	現状維持			0	
容の	縮小				
方向	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投え	人の方向性	

担当課評価の根拠	本事業は各根拠法に基づく法定受託事務が多くを占めている。産業廃棄物の適正処理に向けて排出事業者・処理業者に対する指導を行い、各種許可申請や届出等について適正に審査したうえで必要に応じて助言、命令及び処分等を行っている。そのため事業内容については法改正が無い限り大きく変更されることはないと思われるが、近年は事業者のコンプライアンス意識の向上、環境関連の法規制強化により指導・監視等の必要性が高まっている。
見直し・改善内容	事務の効率化を図り、各種申請等の事務に対し審査・指導内容の基準を明確にしていくよう努める。事業者に対する指導を適正に行うため、許可事業者に対する立入検査や作業現場のパトロール等の現場確認業務を強化してくよう努める。

事務事業No 事業名

424		事業系ごみ収集運搬事業
[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
· 并未区分(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来四月(4)	その他						
	会計	一般会計					
	款	衛生費					
会計•	項		清掃費				
予算区分	目		塵芥処理事業費				
	大事業	塵芥処理事業					
	中事業	事業系ごみ収集運搬事業					

事業種別	継続		関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	廃棄物対策課	辻 晃秀	435-1352
事業実施の根拠法令			-	関連課		•	

1 事業内容

-		# X-11/14						
Γ		(「誰・何」をどう	ういう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要	
Γ	T	事業者から排出される一般原	廃棄物を適正に収集運搬する	ため。	市民の生活環境	竟の保全及び公衆衛生の向上の	ため、事業者から排出される一	般廃棄物を適正に収集運搬す
1000	事業目内				るための事業			
	的		令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			事業者から排出される一般廃			事業者から排出される一般廃	7 11 1 2 4	7 11 1 4 4
			棄物を適正に収集運搬するた			棄物を適正に収集運搬するた		
			めの啓発等を行った。	めの啓発や業務	め 委託を行っ	めの啓発や業務の委託をする	めの啓発や業務の委託をする	めの啓発や業務の委託をする
100	事	/	多量排出事業者減量計画書発	た。		٥	٥	0
	事業勺容		送件数207件	多量排出事業者	省減量計画書発			
3	容			送件数172件		送件数158件		
		/						
		/						

2 事業コスト

事業費等	(手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和0	8年度
丁 术貝寸	. (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業	 業費	326	1, 229	326	1	453	160	835	0	835	(
伸び率	(%)	0%	7, 129. 4%	0%	△99. 9%	39%	15, 900%	84. 3%	△100%	0%	0%
	正規職員	2, 793	5, 586	5, 216	7, 630	12, 701	9, 740	12, 701	0	12, 701	C
人件費	正規職員以外	0	0	0	2, 399	2, 444	1,650	2, 444	0	2, 444	0
	小計	2, 793	5, 586	5, 216	10, 029	15, 145	11, 390	15, 145	0	15, 145	0
国庫ラ	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その	の 他	188	0	188	0	188	0	16	0	16	0
一般財源	(税等)	138	1, 229	138	1	265	160	819	0	819	0
所要人数	正規職員	0.36	0.72	0. 67	0. 98	1.63	1. 25	1.63	0.00	1. 63	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.48	0.48	0.40	0.48	0.00	0.48	0.00
主な予算	1内訳	令和6年度 追	通信運搬費120 ⁴	千円、 管理委	託料(事業系	一般廃棄物収集	集運搬業務委託	料) 188千円 (也		

<u> </u>	日保及び美順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	収集件数		目標値					
		件	実績値	0	0	0		
活動指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	適正処理率		目標値	100	100	100	100	100
4.		%	実績値	100	100	100		
成果指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

- 3-3/4 - HT III						
評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	0	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	0	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	0	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)		達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	0	適正		負担は求められない		見直しが必要

	D4 . 74 . 4	T (177 11 HVH)	· III		
市	充実				
事業内容の	現状維持				
容の	縮小		0		
方 向 性	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投え	人の方向性	

担当課評価の根拠	本来事業系ごみは、排出者責任に基づき処理されるべきものである。平成26年10月から事業系一般廃棄物収集運搬業の許可制度を導入することにより、事業を縮小することができた。平成28年度以降は、事業所からの収集依頼は0件となっている。 現在、事業所から排出される事業系一般廃棄物を適正に収集運搬されるよう啓発・指導を行っている。
見直し・改善内容	今後も引き続き事業系一般廃棄物の適正な処理に努める。また、事業系から排出されるリサイクル可能な古紙類の青岸清掃 センターへの搬入を規制している。

事務事業No 事業名

487 最終処分事業 (フェニックス負担金)

707		政制だ刀子木(フェーフノハ氏に並)
[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

[李木色作品本]								
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費					
事未四月(1)	その他							
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務					
事未四月(4)	その他							
	会計	一般会計						
	款							
会計•	項		清掃費					
予算区分	目	清掃総務費						
	大事業		清掃総務事業					
	中事業	最終処分	事業(フェニックス)	負担金)				

事業種別	別継続			関連個別計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	廃棄物対策課	辻 晃秀	435-1352
事業実施の根拠法令	令		関連課 青岸清掃センター				

	L	事業内容									
٢		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要				
Γ		一般廃棄物の焼却灰の最終	処分を委託している大阪湾フ	ェニックスの	自前で最終処分場を持たない本市では、広域臨海環境整備センター法に基づく、大阪湾フェニックス事業						
1		最終処分場の建設費及び調査費の負担				で焼却灰等の一般廃棄物の最終処分を委託している。その最終処分場の建設にかかる工事費や調査費につ					
1					いての本市分	いての本市分を負担している。					
:	事										
	事業目										
H	的	J									
1											
L	_	,									
		/	令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度			
			一般廃棄物の焼却灰の最終処	一般廃棄物の類	競却灰の最終処	一般廃棄物の焼却灰の最終処	一般廃棄物の焼却灰の最終処	一般廃棄物の焼却灰の最終処			
1			分を委託している大阪湾フェ	分を委託してい	\る大阪湾フェ	分を委託している大阪湾フェ	分を委託している大阪湾フェ	分を委託している大阪湾フェ			
1			ニックスセンターにおける海	ニックスの最終	冬処分場の建設	ニックスの最終処分場の建設	ニックスの最終処分場の建設	ニックスの最終処分場の建設			
	事		面埋立処分場の建設工事費、	費、延命化工具	事費及び調査費	費及び調査費の負担	費及び調査費の負担	費及び調査費の負担			
- 1	事業为		延命化工事費及び調査費の負	の負担							
	容		担								
1											
1											
-		/						i l			

重	事業費等 (千円)		4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和0	8年度
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	14, 893	12, 709	18, 273	16, 137	15, 253	15, 253	19, 217	0	19, 217	0
伸び率	5 (%)	34. 6%	18.8%	22. 7%	27%	△16.5%	△5.5%	26%	△100%	0%	0%
	正規職員	1, 862	2, 793	2, 570	4, 827	2, 572	3, 663	2, 572	0	2, 572	0
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1, 862	2, 793	2, 570	4, 827	2, 572	3, 663	2, 572	0	2, 572	0
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ(か 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	〔(税等)	14, 893	12, 709	18, 273	16, 137	15, 253	15, 253	19, 217	0	19, 217	0
所要人数	正規職員	0. 24	0.36	0. 33	0. 62	0. 33	0. 47	0. 33	0.00	0. 33	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算	内訳	令和6年度 应	広域廃棄物埋立	処分場整備事	業負担金 15,2	253千円					

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	大阪湾広域臨海環境整備センター 会議等出席回数		目標値	8	8	8	8	8
		回	実績値	10	8	8		
活動指標			達成度(%)	125%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	焼却灰、がれき等の適正処理率		目標値	100	100	100	100	100
4-1		%	実績値	100	100	100		
成果指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

- *//* · N1 III					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	0 子及の分内区(正当株町両)								
市	充実								
事業内容の	現状維持			0					
	縮小								
方 向 性	廃止								
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大				
コスト投入の方向性									

担当課評価の根拠	平成30年3月に大阪湾フェニックス2期事業の基本計画が変更され、事業計画の終了年度が令和14年度まで延長された。このため、計画変更による量の拡大や埋立処分場の延命化工事費等の増加により負担金が増額傾向であるが、終了年度まで計画どおり進める。また、大阪湾フェニックス3期事業について平成28年6月6日に事業を具体化していくにあたっての事業の概要が公表された。3期処分場の計画容量は2期事業終了後20年間を想定しており、3期事業の実施に向け手続きが進められている。今後も継続して事業計画に積極的に参画していく必要がある。
見直し・改善内容	本市は、一般廃棄物の処理責任を有しているが、自らの最終処分場を持たない為、引き続き焼却灰やがれきの最終処分を大阪湾広域臨海環境整備センターに委託せざるを得ない状況である。中長期的に独自の最終処分場整備の可能性について検討しているが、市民の生活環境や費用など課題が多く、整備するのは非常に難しい状況である。

事務事業No 事業名

13102		烧来初週止处理推進争来
[長期総合計画]	j	
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費					
ず来四次(1)	その他							
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務					
事来区为(2)	その他							
	会計	一般会計						
	款	衛生費						
会計・	項		清掃費					
予算区分	目	清掃総務費						
	大事業		清掃総務事業					
	中事業	廃棄	美物適正処理推進	事業				

事業種別	継続		関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画		
事業年度	無し ~	無し	担当課・担当課長・Tel	廃棄物対策課	辻 晃秀	435-1352
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		関連課 産業廃棄物課、収集センター		ター	

1	事業内容									
Г	(「誰・何」をどう	いう状態にするための事業	カュ)	全体事業概要						
Г	関係機関と連携し、不法投棄	その根絶と災害廃棄物の適正	処理を実施す	現在中心市街地内で収集場所以外の場所に不法投棄が増えており、その対策が急務となっている。そのた						
	る。	め関係機関と連絡し、監視体制を構築する。また、近年台風や水害が頻繁に本市を襲い、災害廃棄物が大								
		量に発生してい	量に発生している。その廃棄物を適正処理するための物資を充実させる。							
耳	<u>.</u>									
事業										
台	; 									
L										
		令和04年度	令和05年度		令和06年度	令和07年度	令和08年度			
	/	不法投棄が多発する地域に監	不法投棄が多ろ	巻する地域に監	不法投棄が多発する地域に監	不法投棄が多発する地域に監	不法投棄が多発する地域に監			
		視カメラを設置する。災害廃	視カメラを設置	置する。災害廃	視カメラを設置する。災害廃	視カメラを設置する。災害廃	視カメラを設置する。災害廃			
		棄物を適正処理するため災害	棄物を適正処理	里するための災	棄物を適正処理するため災害	棄物を適正処理するため災害	棄物を適正処理するため災害			
事	[仮置きヤードにおける物資を	害仮置きヤー	ドの維持管理を	仮置きヤードにおける物資を	仮置きヤードにおける物資を	仮置きヤードにおける物資を			
事業戸室		整えた。	行った。		整える。	整える。	整える。			
7										
	/									
	1/									
- [1/									

2 事業コスト

東娄弗 竺	事業費等 (千円)		4年度	令和0	5年度	令和06年度		令和07年度		令和08年度	
尹 未貝寸			決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業	 と 費	2, 634	1, 925	2, 777	2, 083	2, 562	1, 697	2, 539	0	2, 539	0
伸び率	(%)	△4.8%	△18. 1%	5. 4%	8. 2%	△7. 7%	△18.5%	△0.9%	△100%	0%	0%
	正規職員	25, 056	23, 271	21, 721	23, 978	12, 701	19, 480	12, 701	0	12, 701	0
人件費	正規職員以外	2, 203	2, 203	2, 179	4, 578	4,621	5, 083	4, 621	0	4,621	0
	小計	27, 259	25, 474	23, 900	28, 556	17, 322	24, 563	17, 322	0	17, 322	0
国庫ラ	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その	の他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	(税等)	2,634	1, 925	2, 777	2, 083	2, 562	1,697	2, 539	0	2, 539	0
所要人数	正規職員	3. 23	3.00	2. 79	3. 08	1.63	2. 50	1.63	0.00	1.63	0.00
(人)	正規職員以外	0. 96	0. 96	0. 96	1. 44	1. 44	1. 75	1. 44	0.00	1. 44	0.00
主な予算	主な予算内訳 令和6年度 需用費820千		· 信用費820千円、	委託料492千	円、手数料452	千円他					

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	不法投棄監視パトロール回数		目標値					
		回	実績値	620	523	401		
活動指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	不法投棄処理件数		目標値					
4-		件	実績値	169	104	100		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

<u> </u>					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	0	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	0	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

事	充実					
事業内容の	現状維持			0		
容の	縮小					
方向	廃止					
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
			コスト投え	人の方向性		

担当課評価の根拠	災害廃棄物の適正処理のため引き続き仮置きヤードの維持管理を行う必要がある。 不法投棄対策は、市民ボランティア監視員及び職員のパトロールによって、抑止力としての効果は出ている。
見直し・改善内容	市民ボランティアパトロール員と行政がさらに協力し、パトロール強化及び啓発に努める。 近隣の市町と協力して不法投棄の撲滅を目指す。

事務事業No 事業名

15026 [長期総合計画] 分野別目標 2 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち 政策 4 自然と共生する環境にやさしい社会の形成 施策 2 循環型社会の形成 取組方針 2 廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

「ナベ西汁・旧下」				
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費	
事来四次(1)	その他			
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務	
事来四万(4)	その他			
	会計			
	款			
会計・	項			
予算区分	目			
	大事業			
	中事業		_	

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市循環型社会形成推進地域計画		
事業年度	無し ~	無し	担当課・担当課長・Tel	青岸清掃センター	野上 朋紀	428-4153
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する	法律	関連課	廃棄物対策課・収集センター		

1 事業内容

	1	事業内容								
ſ			ういう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要			
Γ		一般廃棄物の適正処理を行	う。		一般廃棄物の処理は地方自治体の責務であり、市民の生活環境衛生を支える重要な事業です。中間処理					
-					事業は、和歌山市内で発生する一般廃棄物を当施設で受け入れし、適正処理することを目的としています					
-					。当事業では、主にごみの焼却処理を行っており、焼却時に発生する廃熱を発電に利用し、発電した電力					
-	事				は施設内で使用	用、余剰分は売却し収入として	います。			
-	事業目				青岸エネルギーセンターは平成29年度に基幹改良工事を済ませ施設の延命化を行いました。様々なご					
	的				み減量施策の発	効果もあり、一般廃棄物の減量	が進んできたことから令和2年	・度には青岸クリーンセンター		
					を休炉し、令和	n3年度からはごみ中継施設と	して整備しました。			
1										
L										
-			令和04年度	令和05	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度		
-			ごみ受入れ	ごみ受入れ		ごみ受入れ	ごみ受入れ	ごみ受入れ		
-			ごみ受入れに伴う手数料の徴	ごみ受入れに伴	半う手数料の徴	ごみ受入れに伴う手数料の徴	ごみ受入れに伴う手数料の徴	ごみ受入れに伴う手数料の徴		
-			収	収		収	収	収		
-	事		粗大ごみ等の切断	粗大ごみ等の切	7断	粗大ごみ等の切断	粗大ごみ等の切断	粗大ごみ等の切断		
-	事業内		施設修繕等維持管理	施設修繕等維持		施設修繕等維持管理	施設修繕等維持管理	施設修繕等維持管理		
-	容	余熱利用による発電 余熱利用による		発電	余熱利用による発電	余熱利用による発電	余熱利用による発電			
-										
-										
- 1								1		

2 事業コスト

事業費等	: (手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和0	8年度
尹 木貝 寸	(111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		954, 325	908, 731	1, 077, 528	1, 095, 919	1, 478, 610	1, 168, 708	1, 837, 483	0	1, 837, 483	(
伸び率 (%)	△15.9%	△13%	12. 9%	20.6%	37. 2%	6. 6%	24. 3%	△100%	0%	09	
	正規職員	85, 095	79, 898	77, 150	49, 202	58, 440	58, 830	58, 830	0	58, 830	(
人件費	正規職員以外	13, 053	14, 911	18, 596	18, 347	12, 900	13, 784	14, 816	0	14, 816	C
	小計	98, 148	94, 809	95, 746	67, 549	71, 340	72, 614	73, 646	0	73, 646	C
国庫	支出金	0	0	0	114	0	0	0	0	0	(
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
市	債	0	0	0	0	0	64, 300	269, 300	0	269, 300	(
その	の 他	558, 909	852, 648	837, 236	694, 132	617, 896	657, 968	724, 070	0	724, 070	C
一般財源	(税等)	395, 416	56, 083	240, 292	401, 673	860, 714	446, 440	844, 113	0	844, 113	C
所要人数	正規職員	10. 97	10. 30	9. 91	6. 32	7. 50	7. 55	7. 55	0.00	7. 55	0.00
(人)	正規職員以外	5. 69	6. 50	7. 27	7. 22	5. 69	6. 08	6. 33	0.00	6. 33	0.00
主な予算内訳		消耗品費195,	877 (千円) ・	光熱水費197,7	783 (千円) ·	機械修繕料676	,206 (千円)	• 管理委託料36	66,306 (千円)	他	

<u> </u>	日保及い夫債							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	総搬入量 (エネルギーセンター)		目標値					
\		指標名 単位						
活動			達成度(%)	%	%	%	%	%
指標	総搬入量 (クリーンセンター)		目標値					
標		t	実績値	6, 376	3, 626	4, 516		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
	売電量 (エネルギーセンター)		目標値					
		kWh	実績値	18, 792, 811	9, 175, 666	16, 090, 707		
成果指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指	売電量 (クリーンセンター)		目標値					
標		kWh	実績値	0	0	0		
			達成度(%)	%	%	%	%	%

_ ·					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	7 医5220 101年(125日 146日 146)											
事	充実											
事業内容の	現状維持			0								
容の	縮小											
方向性	廃止											
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大							
	コスト投入の方向性											

担当課評価の根拠	一般廃棄物の適正な処理は地方自治体の責務であり、また自治事務であるため、計画どおりに進める必要がある。
見直し・改善内容	青岸エネルギーセンターの焼却施設、発電設備等の適切な維持管理及び計画に沿った焼却処理を図る。 青岸クリーンセンターのごみ中継施設の適切な維持管理及び機能維持を図る。

事務事業No 事業名

15047 最終処分事業(埋立処分) 長期総合計画 2 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち 政策 4 自然と共生する環境にやさしい社会の形成 施策 2 循環型社会の形成 取組方針 2 廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

F 2 >14 CTT 1 113 1142				
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費	
ず来区が(1)	その他			
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務	
事来区为(2)	その他			
	会計			
	款			
会計・	項			
予算区分	目			
	大事業		•	·
	中事業			

事業種別	継続		関連個別計画	ごみ処理基本計画			
事業年度	無し ~	無し	担当課・担当課長・Tel	青岸清掃センター	野上 朋紀	428-4153	
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法	:律	関連課	収集センター			

1 事業内容

	1	事 業乃谷								
ſ		(「誰・何」をどう	いう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要			
	事業目的	_			青岸清掃センター (青岸エネルギーセンター) 焼却灰等を適正処理するため大阪湾環境臨済ーに委託する。					
	事業内容	1 / 1	令和04年度 焼却灰等搬出に係る契約・支 払い	令和0 焼却灰等搬出(払い	5年度 ご係る契約・支	令和06年度 焼却灰等搬出に係る契約・支 払い	令和07年度 焼却灰等搬出に係る契約・支 払い	令和08年度 焼却灰等搬出に係る契約・支 払い		

2 事業コスト

事業費等	(手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和06年度		令和0	7年度	令和08	8年度
于 术具 寸	- (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	180, 316	161, 273	173, 428	154, 863	194, 595	167, 980	192, 536	0	192, 536	0
伸び率	3 (%)	△0.3%	△0.8%	△3.8%	△4%	12. 2%	8. 5%	△1.1%	△100%	0%	0%
	正規職員	5, 663	5, 353	5, 139	4, 905	6, 468	6, 546	6, 546	0	6, 546	0
人件費	正規職員以外	758	872	1, 113	863	749	0	207	0	207	0
	小計	6, 421	6, 225	6, 252	5, 768	7, 217	6, 546	6, 753	0	6, 753	0
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ(の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	(税等)	180, 316	161, 273	173, 428	154, 863	194, 595	167, 980	192, 536	0	192, 536	0
所要人数	正規職員	0. 73	0. 69	0.66	0.63	0.83	0.84	0.84	0.00	0.84	0.00
(人)	正規職員以外	0. 33	0. 38	0.43	0.38	0. 33	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
主な予算内訳		廃棄物処理委	託料194,595(千円)							

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	焼却灰等発生量 (エネルギーセンター)		目標値					
		t	実績値	14, 516	13, 939	13, 052		
活動指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	焼却灰等処分量 (エネルギーセンター)		目標値					
4-1		t	実績値	14, 516	13, 939	13, 052		
成果指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	•	適正	0	負担は求められない	見直しが必要

<u> </u>	24	T (177 11 HVH)	· III-7		
事	充実				
事業内容の	現状維持			0	
容の	縮小				
方向性	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投え	人の方向性	

担当課評価の根拠	一般廃棄物の適正な処理は地方自治体の責務であり、また自治事務であるため、計画どおり進める必要がある。
見直し・改善内容	青岸エネルギーセンターの焼却灰等の搬出を効率的かつ適正に行う。

事務事業No 事業名

21942 青岸清掃センター次期ごみ処理施設整備事業 [長期総合計画] 2 分野別目標 2 政策 4 自然と共生する環境にやさしい社会の形成 施策 2 循環型社会の形成

廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
事来区为(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来区为(4)	その他						
	会計	一般会計					
	款		衛生費				
会計・	項		清掃費				
予算区分	目		清掃工場費				
	大事業		清掃工場事業				
	中事業	青岸清掃セン	ター次期ごみ処理	施設整備事業			

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市循環型社会形成推進地域計画		
事業年度	無し ~	無し	担当課・担当課長・Tel	青岸清掃センター	野上 朋紀	428-4153
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		関連課	廃棄物対策課		

1 事業内容

取組方針

2

1		事業內容									
Γ			う状態にするための事業だ	<i>ξ</i> ₂)		全体事業概要					
Г	T	和歌山市において発生するごみの	の処理を将来にわたり安定	定して行うた 青岸清掃セン	青岸清掃センターにおける次期ごみ処理施設を整備する。						
		め。									
1	事										
1	事 羧目内										
É	勺										
\vdash	\dashv	1	令和04年度	 令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度				
		/ ⊢		廃棄物処理施設整備基本計画							
		/	I	及UPFI導入可能検討業務	理施設の計画・建設等	理施設の計画・建設等	理施設の計画・建設等				
		/									
1	#	/									
1	事業勺容										
1	学										
		/					1				

2 事業コスト

重	≨ (千円)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和0	8年度
	- (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	0	0	16, 665	6, 499	8, 786	8, 810	45, 392	0	324, 188	0
伸び率	₹ (%)	0%	0%	0%	0%	△47. 3%	35. 6%	416.6%	△100%	614. 2%	0%
	正規職員	0	0	19, 697	24, 601	45, 428	39, 272	39, 272	0	39, 272	0
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	817	817	0	817	0
	小計	0	0	19, 697	24, 601	45, 428	40, 089	40, 089	0	40, 089	0
国庫	支出金	0	0	5, 555	5, 554	0	7, 985	6, 685	0	108, 062	0
県 支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ	の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	頁 (税等)	0	0	11, 110	945	8, 786	825	38, 707	0	216, 126	0
所要人数	正規職員	0.00	0.00	2. 53	3. 16	5. 83	5. 04	5. 04	0.00	5. 04	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 36	0.36	0.00	0. 36	0.00
主な予算	章内訳	令和5年度か	らの繰越額、	周査設計委託料	8, 785, 07	1 (円)					_

<u> </u>	日保及び美順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	次期ごみ処理施設の計画		目標値					
		%	実績値		3	3.8		
活動指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	廃棄物処理施設整備基本計画及びPFI導入可能検討業務		目標値					
		%	実績値		26	100		
成果指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指	次期ごみ処理施設整備基本設計等業務(令和7年度~令和9年度)		目標値					
標		%	実績値			0		
			達成度(%)	%	%	%	%	%

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	0	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	0	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

	D4 . 74 . 4	T (177 11 HVH)	· III-7		
市	充実				0
事業内容の	現状維持				
	縮小				
方 向 性	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投え	人の方向性	

担当課評価の根拠	一般廃棄物の適正な処理は地方自治体の責務であり、また自治事務であるため、計画どおりに進める必要がある。
見直し・改善内容	なし

事務事業No

2

No 事業名 **8656 ごみ収集運搬事業(北)**

0000		こり人不足似于不(心)
[長期総合計画]	j	
分野別目標 2		住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策		自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策		循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
事来四次(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来四月(2)	その他						
	会計	一般会計					
	款	衛生費					
会計・	項	清掃費					
予算区分	目		塵芥処理事業費				
	大事業	塵芥処理事業					
	中事業	ごみ収集運搬事業 (北)					

事業種別		継続		関連個別計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	収集センター 相坂 光洋 471-1503		
事業実施の根拠法令	施の根拠法令 廃棄物の減量推進及び適正処理に関する条例		関する条例	関連課			

取組方針

1	事業 円谷								
	(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カゝ)			全体事業概要			
	実施計画に基づいて、北事程	務所所管の直営地区の家庭か	ら排出される	塵芥を適切に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に加え、循環型社会の形成を目指す。					
	一般ごみ・資源ごみを収集し、運搬する。委託地区については、委託								
	業者の監視及び指導を行う。								
事業目的									
事業内容		庭から排出される一般ごみ・ 資源ごみを収集し、運搬する 。委託地区については、委託	庭から排出され 資源ごみを収り 。委託地区につ	D直営地区の家 1る一般ごみ・	令和06年度 北事務所所管の直営地区の家 庭から排出される一般ごみ・ 資源ごみを収集し、運搬する 。委託地区については、委託 業者の監視及び指導を行う。	庭から排出される一般ごみ・ 資源ごみを収集し、運搬する			
内容		AND THE STATE OF STAT	, A -> III, MA	7 JH 7 G 13 7 0	N I V MILIONA STEMPETTY	Д Б · 2 ш.рид ∪ П + 1 1 7 0	X II - III VOIC VIEW CIT / 0		

事業費等 (千円)		令和04年度 令和05年度		5年度	令和06年度		令和0	7年度	令和08	8年度	
尹 承 兵 寸	(111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	594, 097	595, 832	590, 316	588, 845	602, 109	617, 015	623, 472	0	623, 472	0
伸び率	(%)	2.1%	2. 6%	△0.6%	△1.2%	2%	4.8%	3. 5%	△100%	0%	0%
	正規職員	423, 843	428, 420	440, 943	439, 853	441, 807	471, 339	452, 794	0	0	0
人件費	正規職員以外	20, 566	33, 394	30, 394	30, 394	28, 767	4, 875	18, 447	0	0	0
	小計	444, 409	461, 814	471, 337	470, 247	470, 574	476, 214	471, 241	0	0	0
国庫	支出金	0	0	0	58	0	0	0	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	10, 100	0	6, 700	0	14, 600	0	8, 700	0	0	0
その	の 他	246	0	645	0	171	0	0	0	0	0
一般財源	(税等)	583, 751	595, 832	582, 971	588, 787	587, 338	617, 015	614, 772	0	623, 472	0
所要人数	正規職員	54. 64	55. 23	56. 64	56. 50	56. 70	60. 49	58. 11	0.00	0.00	0.00
(人)	正規職員以外	4. 75	8. 20	7. 65	7. 65	6. 71	2. 15	5. 44	0.00	0.00	0.00
主な予算	内訳	管理委託料55	4,296千円、自	動車購入費19,	580千円、自動	b車修繕料10,5	34千円、自動車	車用燃料費11,4	98千円		

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	ごみ収集稼働日数		目標値	259	257	258	259	260
		日	実績値	259	257	258		
活動指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	ごみ収集量		目標値	33280	33280	33280	33280	33280
4-		t	実績値	45787	43310	42032		
成果指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

- 4. VC -> H I III	・ 								
評価基準									
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい		減少している			
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要			
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている			
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	0	緊急性は薄い			
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない		できない			
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)		達成していない (70%未満)			
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある		貢献度は低い			
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある		できる			
[効率性]受益者負担の見直し	0	適正		負担は求められない		見直しが必要			

	0 イ皮のの内は (正当体計画)											
市	充実											
事業内容の	現状維持			0								
	縮小											
方 向 性	廃止											
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

担当課評価の根拠	一般家庭ごみ収集業務については、ごみ収集委託業者と共に適切なごみ収集を行い、市民サービスの低下に繋がらないよう 心がけています。
見直し・改善内容	平成31年度より、ごみ収集量の約70%が民間委託となり、職員の人員も削減される中、休暇取得の改善や委託業者と連携を取りながら市民サービスの向上に取り組みたいと考えています。また、中心拠点再生地区において、3Rとごみ減量を推進し、ごみ出しのマナーの向上を図るため軽四ダンプでパトロールを強化し、ごみ集積ポイントの適切な処理及び不法投棄を回収することで街の美観を保持して行きたいと考えています。

事務事業No 事業名

8677 清掃事務所維持管理事業(北) [長期総合計画] 2 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち 政策 4 自然と共生する環境にやさしい社会の形成 施策 2 循環型社会の形成 取組方針 2 廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
于未区为(I)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来区为(4)	その他						
	会計	一般会計					
	款	衛生費					
会計•	項	清掃費					
予算区分	目	塵芥処理事業費					
	大事業	塵芥処理事業					
	中事業	清掃事務所維持管理事業(北)					

事業種別	継続			関連個別計画			
事業年度	年度 無し ~ 無し		担当課・担当課長・Tel	収集センター	相坂 光洋	471-1503	
事業実施の根拠法令				関連課			

1 事業内容

	4 4 × 1 14 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·											
Γ		(「誰・何」をどうい	ヽう状態にするための事業?	ウ ᠈)	全体事業概要							
THE STATE OF THE	事業目的	清掃事務所の維持管理		塵芥収集業務を円滑に随行するため清掃事務所を維持管理する。								
Edition Trans	事業内容	清打	令和04年度 掃事務所の維持管理	令和0.清掃事務所の約		令和06年度 清掃事務所の維持管理	令和07年度 清掃事務所の維持管理	令和08年度 清掃事務所の維持管理				

2 事業コスト

車業患生	事業費等(千円)		4年度	令和0	令和05年度		令和06年度		7年度	令和08	8年度
于 术具 1			決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	11, 170	11, 520	12, 128	11, 733	12, 463	11, 248	12, 197	0	12, 197	0
伸び率	₫ (%)	3. 5%	4.6%	8.6%	1.8%	2.8%	△4.1%	△2.1%	△100%	0%	0%
	正規職員	4, 965	5, 043	5, 139	5, 139	5, 221	5, 533	5, 299	0	0	0
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	679	0	0	0	0
	小計	4, 965	5, 043	5, 139	5, 139	5, 221	6, 212	5, 299	0	0	0
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県 支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ	の他	73	73	73	73	73	73	73	0	0	0
一般財源	泵 (税等)	11, 097	11, 447	12, 055	11,660	12, 390	11, 175	12, 124	0	12, 197	0
所要人数	正規職員	0.64	0.65	0.66	0.66	0. 67	0.71	0.68	0.00	0.00	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算	主な予算内訳		2千円 管理委	託料4,447千円							

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	施設開設日数		目標値	259	257	258	259	260
		日	実績値	259	257	258		
活動指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	施設の適正・維持管理		目標値	5	5	5	5	5
		段階	実績値	5	5	5		
成果指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

<u> </u>						
評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	0	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)		達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない		見直しが必要

	D4 . 74 . 4	T (177 11 HVH)	· III-7					
市	充実							
事業内容の	現状維持			0				
容の	縮小							
方 向 性	廃止							
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大			
	コスト投入の方向性							

担当課評価の根拠	おおむね良好な環境を維持している。
見直し・改善内容	将来的に施設を維持管理をするにあたり、設備等の点検を徹底し、維持費の現状維持又は縮小に努めなければならない。

事務事業No 事業名

ふれあい収集事業 8700 [長期総合計画] 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち 分野別目標 自然と共生する環境にやさしい社会の形成 政 策 4 循環型社会の形成 施 策 2

廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

F 3 >14 CTT 1 113 114 2							
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
事来四月(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来区为(2)	その他						
	会計	一般会計					
	款	衛生費					
会計・	項		清掃費				
予算区分	目		塵芥処理事業費				
	大事業		塵芥処理事業	·			
	中事業		ふれあい収集事業	į			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し ~	無し	担当課・担当課長・Tel	収集センター	相坂 光洋	471-1503
事業実施の根拠法令	和歌山市ふれあい収集実施界	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	関連課			

取組方針

2

1		事業内容									
Г		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カゝ)			全体事業概要				
Г		高齢や障害等で自分でごみ	を出すことが困難な人に対し	、いたわりの	単身高齢者世帯	帯の戸別ごみ収集					
		ある廃棄物行政を行う。			要支援世帯の戸別ごみ収集						
Ę											
芦	事業目										
Á	内										
L											
			令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度			
			高齢や障害等で自分でごみを	高齢や障害等で	で自分でごみを	高齢や障害等で自分でごみを	高齢や障害等で自分でごみを	高齢や障害等で自分でごみを			
			出すことが困難な人を対象に	出すことが困難	誰な人を対象に	出すことが困難な人を対象に	出すことが困難な人を対象に	出すことが困難な人を対象に			
			職員が決まった曜日に自宅ま	職員が決まった	た曜日に自宅ま	職員が決まった曜日に自宅ま	職員が決まった曜日に自宅ま	職員が決まった曜日に自宅ま			
=	Į.		で直接ごみを取りに行く。ま	で直接ごみを耳	対りに行く。ま	で直接ごみを取りに行く。ま	で直接ごみを取りに行く。ま	で直接ごみを取りに行く。ま			
月	事業与容		た、希望があれば「声かけ」	た、希望があれ	1ば「声かけ」	た、希望があれば「声かけ」	た、希望があれば「声かけ」	た、希望があれば「声かけ」			
7	· 字		を行う。	を行う。		を行う。	を行う。	を行う。			
1											
- 1		/									

事業費等	(手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和08	8年度
尹 术貝 5	于 未具寸(111)		決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	351	347	431	411	397	337	595	0	595	0
伸び幸	₹ (%)	△14. 4%	△11%	22. 8%	18. 4%	△7. 9%	△18%	49. 9%	△100%	0%	0%
	正規職員	29, 943	30, 253	30, 829	31, 063	31, 168	33, 272	31, 948	0	0	0
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	1, 114	0	0	0
	小計	29, 943	30, 253	30, 829	31, 063	31, 168	33, 272	33, 062	0	0	0
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県 支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ	の他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	泵 (税等)	351	347	431	411	397	337	595	0	595	0
所要人数	正規職員	3.86	3. 90	3. 96	3. 99	4.00	4. 27	4. 10	0.00	0.00	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 27	0.00	0.00	0.00
主な予算	主な予算内訳		7千円、自動車	修繕100千円							

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	ふれあい収集申込件数		目標値	60	60	60	60	60
_		件	実績値	36	37	41		
活動指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	ふれあい収集実施件数		目標値	250	250	250	250	250
		件	実績値	182	189	163		
成果指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

- *->/¢ - #1 III						
評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	0	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)		達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない		見直しが必要

=		- (1 PICE				
市	充実				0	
事業内容の	現状維持					
	縮小					
方 向 性	廃止					
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
コスト投入の方向性						

	利用者に対して問題なく事業が遂行された。
担当課評価の根拠	
見直し・改善内容	高齢化が進む中で需要は高まっており、現行の要件を見直し、より多くの方に利用していただきたい。

事務事業No 事業名

8706 [長期総合計画] 分野別目標 2 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち 政策 4 自然と共生する環境にやさしい社会の形成 施策 2 確環型社会の形成 取組方針 2 廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

[尹禾巫平旧形]						
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費			
事未四月(1)	その他					
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務			
事未四月(4)	その他					
	会計	一般会計 衛生費				
	款					
会計•	項		清掃費			
予算区分	目		塵芥処理事業費			
	大事業		塵芥処理事業			
	中事業	小型	家電等リサイクル	事業		

事業種別	継続	関連個別計画	
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	収集センター 相坂 光洋 471-1503
事業実施の根拠法令	使用済小型電子機器等の再資源化の促進	関連課	

1 事業内容

1	L	事業内容					
Γ		(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カッ)		全体事業概要	
	事	小型家電のリサイクルを推進する。			と循環型社会の形成を目指すため	のリサイクル事業	
	事業目的				_		
			令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			家庭から排出される小型家電 (268品目)を各地区、年				
			2回指定した場所で回収し、	2回指定した場所で回収し		2回指定した場所で回収し、	2回指定した場所で回収し、
	事		青岸ストックヤードへ搬入す			青岸ストックヤードへ搬入す	
	事業内容		る。	る。	3.	3.	3.

2 事業コスト

事業費等	5 (手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和08	8年度
于 术具寸	- (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	1, 882	1, 900	1, 777	1, 742	2,030	1,868	2, 612	0	2,612	(
伸び率	٤ (%)	1.2%	2.8%	△5. 6%	△8.3%	14. 2%	7. 2%	28. 7%	△100%	0%	0%
	正規職員	29, 943	30, 175	30, 051	31, 063	31, 168	33, 272	31, 948	0	0	C
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	1, 114	0	0	0
	小計	29, 943	30, 175	30, 051	31,063	31, 168	33, 272	33, 062	0	0	0
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ(の他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	(税等)	1,882	1, 900	1, 777	1,742	2,030	1,868	2,612	0	2,612	0
所要人数	正規職員	3. 86	3. 89	3. 86	3. 99	4. 00	4. 27	4. 10	0.00	0.00	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 27	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		自動車用燃料	1,057千円、自	動車修繕655千	·円						

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	小型家電 地区回収実施回数		目標値	582	582	582	582	582
		地区	実績値	582	582	582		
活動指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)				\$82 % 300000	
	小型家電回収量		目標値	300000	300000	300000	300000	300000
		kg	実績値	245000	230180	221180		
成果指標			達成度(%)	%	%	%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	0	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)		達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない		見直しが必要

	D4 . 74 . 4	F (177 11 HVH)	· III-7			
市	充実					
事業内容の	現状維持			0		
容の	縮小					
方 向 性	廃止					
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
	コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	粗大ごみとして申し込む以外に事務所へ持ち込みも可能であり、持ち込みできない方のために各地区、年間2回の回収を実施し、市民サービスの向上に努めています。
見直し・改善内容	各地区の回収数を増やすことによりサービスの向上と回収量の増加に繋がるが、人員や機材の問題もあり現状として困難である。

事務事業No

事業名 **ごみ収集運搬事業(西)** 8522

0022		この収未運搬争未(四)
[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費			
事未色力(1)	その他					
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務			
事未色力(2)	その他					
	会計	一般会計				
	款	衛生費				
会計•	項		清掃費			
予算区分	目		塵芥処理事業費			
	大事業		塵芥処理事業			
	中事業		み収集運搬事業(西)			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し ~	無し	担当課・担当課長・Tel	収集センター (西)	相坂 光洋	453-0253
事業実施の根拠法令	廃棄物の減量推進及び適正処理に関する条例		関連課			

1		事業内容						
Γ		(「誰・何」をどうい	う状態にするための事業だ	(دۆ			全体事業概要	
Г	T	市民及び事業者の理解、積極的	的な協力を得ながら、一般	投廃棄物及び	塵芥を適正に	こ処理し、生活環境の保全及び	公衆衛生の向上に加え、循環型	社会の形成を目指す。
		資源の適正な収集運搬を行う。						
1	事							
1	事業目							
Á	内							
L								
		/_	令和04年度	令和05	年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
			事務所所管の直営地区の	西事務所所管の	の直営地区の	西事務所所管の直営地区の	西事務所所管の直営地区の	西事務所所管の直営地区の
		家庭	庭から排出される一般ごみ	家庭から排出される一般ごみ		家庭から排出される一般ごみ	家庭から排出される一般ごみ	家庭から排出される一般ごみ
		/ ・資	資源ごみの収集運搬を行う	資源ごみの収	集運搬を行う	・資源ごみの収集運搬を行う	・資源ごみの収集運搬を行う	・資源ごみの収集運搬を行う
1	基	/ 。参	委託地区については、委託	。委託地区につ	いては委託業	。委託地区については委託業	。委託地区については委託業	。委託地区については委託業
]	事 とりを	業者	者の監督及び指導を行う。	者の監督・指導	を行う。	者の監督・指導を行う。	者の監督・指導を行う。	者の監督・指導を行う。
1	学							
		/						
-1		/						

重業費等	等(千円)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和0	8年度
于未负寸	F (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	20, 635	21, 873	20, 663	22, 835	21, 614	22, 885	24, 066	0	24, 066	0
伸び率	₫ (%)	△3.3%	3. 3%	0.1%	4.4%	4. 6%	0. 2%	11.3%	△100%	0%	0%
	正規職員	383, 584	373, 422	381, 933	389, 095	396, 146	395, 289	396, 613	0	0	0
人件費	正規職員以外	6, 846	4, 639	4, 584	2, 179	2, 432	2, 449	2, 290	0	0	0
	小計	390, 430	378, 061	386, 517	391, 274	398, 578	397, 738	398, 903	0	0	0
国庫	国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支	県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ	の他	246	0	216	0	171	0	0	0	0	0
一般財源	泵 (税等)	20, 389	21, 873	20, 447	22, 835	21, 443	22, 885	24, 066	0	24, 066	0
所要人数	正規職員	49. 45	48. 14	49.06	49. 98	50. 84	50. 73	50. 90	0.00	0.00	0.00
(人)	正規職員以外	2. 39	1. 96	1. 96	0. 90	1.01	1.08	1. 01	0.00	0.00	0.00
主な予算	拿 内訳	自動車修繕料	9,756千円 自	動車用燃料費8	3,623円 自動	車保険料1,088	千円 消耗品勢	費3,633千円			

J	口际及口"天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	ごみ収集稼働日数		目標値	259	257	258	258	260
		日	実績値	259	257	258		
活動指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	ごみ収集量		目標値	29, 894	28, 657	27, 148	27, 148	27, 148
		t	実績値	28, 657	27, 148	26, 419		
成果指標			達成度(%)	95. 8%	94. 6%	97. 3%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

_ ·						
評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	0	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)		達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	0	適正		負担は求められない		見直しが必要

	0 7 及びの内は (正当体計画)											
市	充実											
事業内容の	現状維持			0								
	縮小											
方 向 性	廃止											
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

担当課評価の根拠	一般家庭ごみ収集業務については、ごみ収集委託業者と共に適切なごみ収集を行い、市民サービスの低下に繋がらないよう 心がけています。
見直し・改善内容	平成31年度より、ごみ収集量の約70%が民間委託となり、職員も削減される中、休暇取得の改善や委託業者と連携をとりながら市民サービスの向上に取り組みたいと考えています。また、中心拠点再生地区において、3 R とごみ減量を推進し、ごみ出しのマナーの向上を図るため軽四ダンプでパトロールを実施し、ごみ集積ポイントの適切な処理及び不法投棄を回収することで街の美観を保持していきたいと考えています。

事務事業No

事業名 **清掃事務所維持管理事業(西)** 8524

0024		清邢争伤川雁村官垤争未(2)
[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	0			
ず来区が(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来四月(4)	その他						
	会計	一般会計					
	款	衛生費					
会計•	項		清掃費				
予算区分	目		塵芥処理事業費				
	大事業		塵芥処理事業	•			
	中事業	清掃事	務所維持管理事業	(西)			

事業種別		継続		関連個別計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	収集センター (西)	相坂 光洋	453-0253
事業実施の根拠法令			•	関連課		•	

1	事業内容						
	(「誰・何」をどう	いう状態にするための事業	カュ)			全体事業概要	
Г	西事務所の職場環境を整え	こることにより、維持運営を	円滑にして、	塵芥収集業績	务を円滑に遂行するため清掃事	務所を維持管理する。	
	一般ごみ及び資源の収集運搬	gが円滑に進む状態にする。					
事	£						
事業							
的							
		令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	Ι / Γ	事務所内清掃、機械警備、し	事務所内清掃、	機械警備、し	事務所内清掃、機械警備、し	事務所内清掃、機械警備、し	事務所内清掃、機械警備、し
		尿浄化槽保守点検、受水槽ポ	尿浄化槽保守点	点検、受水槽ポ	尿浄化槽保守点検、受水槽ポ	尿浄化槽保守点検、受水槽ポ	尿浄化槽保守点検、受水槽ポ
		ンプ設備等保守点検など業務	ンプ設備等保守	字点検など業務	ンプ設備等保守点検など業務	ンプ設備等保守点検など業務	ンプ設備等保守点検など業務
事	[委託契約、被服等購入、光熱	委託契約、被用	设等購入、光熱	委託契約、被服等購入、光熱	委託契約、被服等購入、光熱	委託契約、被服等購入、光熱
事業内容		水費や火災保険料等支払、所	水費や火災保険	食料等支払、所	水費や火災保険料等支払、所	水費や火災保険料等支払、所	水費や火災保険料等支払、所
容		々修繕業務等。	々修繕業務等。		々修繕業務等。	々修繕業務等。	々修繕業務等。
	/						1

2 事業コスト

事業費等	: (手田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和08	3年度
于 术貝寸	. (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業	 業費	8, 205	8, 705	9, 114	7, 986	8, 150	7, 890	9, 138	0	0	(
伸び率	(%)	△2.9%	5. 6%	11.1%	△8.3%	△10.6%	△1.2%	12.1%	△100%	△100%	0%
	正規職員	17, 066	16, 600	16, 972	17, 283	17, 610	17, 532	17,610	0	0	(
人件費	正規職員以外	2, 464	976	4, 547	4, 547	4,633	4, 633	4, 633	0	0	(
	小計	19, 530	17, 576	21, 519	21, 830	22, 243	22, 165	22, 243	0	0	(
国庫ラ	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
市	債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
その	の 他	73	0	73	0	73	0	73	0	0	(
一般財源	(税等)	8, 132	8, 705	9, 041	7, 986	8, 077	7, 890	9, 065	0	0	(
所要人数	正規職員	2. 20	2. 14	2. 18	2. 22	2. 26	2. 25	2. 26	0.00	0.00	0.00
(人)	正規職員以外	0.48	0. 19	0. 91	0. 91	0. 91	0. 91	0. 91	0.00	0.00	0.00
主な予算	[内訳	光熱水費3,63	3千円 所々修	繕料790千円	管理委託料2,	411千円 消耗	品費3,633千円				

	日保及U·天順							
	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	所々修繕箇数		目標値	3	5	2	2	2
75		箇所	実績値	5	4	2		
活動指標			達成度(%)	167%	80%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	施設稼働日数		目標値	259	257	258	258	260
4-1		目	実績値	259	257	258		
成果指標			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値				·	
			達成度(%)					

<u> </u>					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	0	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

<u> </u>	DC - 70 1 41.	T (177 11 HVH)	1 11-47		
市	充実				
事業内容の	現状維持			0	
	縮小				
方 向 性	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投え	人の方向性	

担当課評価の根拠	事務所維持管理については、現在まで小規模修繕により職場環境を維持しており、今後の事業を進めるためには、より効率的な修繕を実施することが妥当と考えます。
見直し・改善内容	事務所が年数の経過に伴い老朽化し、修繕を要する箇所が増加していることを考慮すると、大規模修繕が衛生的な職場環境の整備ができると考えます。

事務事業No 事業名

13214		ストックヤード運営事業
[長期総合計画]		
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	0	管理経費				
事来四月(1)	その他						
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務				
事来区为(2)	その他						
	会計	一般会計					
	款		衛生費				
会計・	項	清掃費					
予算区分	目	塵芥処理事業費					
	大事業		塵芥処理事業				
	中事業	ス	トックヤード運営事業				

事業種別	継続		関連個別計画	関連個別計画 和歌山市一般廃棄物処理基本計画		
事業年度	無し ~	無し	担当課・担当課長・Tel	収集センター	相坂 光洋	435-5560
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		関連課	廃棄物対策課・青岸清掃センター		

1	事業內容									
Г	(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カゝ)	全体事業概要						
Г	直営により資源物や不燃物等	等を分別することで再資源化	を行い、焼却	日常的に搬入る	日常的に搬入される一般廃棄物から資源物や不燃物等を分別することで再資源化を行い、焼却ごみ量や最					
	ごみ量や最終処分量の削減	を図る。		終処分量の削減	咸を図る。					
耳	£									
事業										
台										
Г		令和04年度	令和0	5年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度			
		資源物や不燃物等を分別する	資源物や不燃物	か等を分別する	資源物や不燃物等を分別する	資源物や不燃物等を分別する	資源物や不燃物等を分別する			
		ことで再資源化を行い、焼却	ことで再資源化	とを行い、焼却	ことで再資源化を行い、焼却	ことで再資源化を行い、焼却	ことで再資源化を行い、焼却			
		ごみ量や最終処分量の削減を	ごみ量や最終処	D分量の削減を	ごみ量や最終処分量の削減を	ごみ量や最終処分量の削減を	ごみ量や最終処分量の削減を			
事		図る。	図る。		図る。	図る。	図る。			
事業										
Ź										
	1/									

事業費等	(4田)	令和0	4年度	令和0	5年度	令和0	6年度	令和0	7年度	令和08年度	
尹未貝司	(117)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	170, 927	139, 458	184, 710	147, 255	160, 128	130, 514	169, 100	0	169, 100	C
伸び率	5 (%)	△14. 2%	△14. 1%	8. 1%	5. 6%	△13.3%	△11.4%	5. 6%	△100%	0%	0%
	正規職員	327, 811	371, 095	377, 417	365, 195	366, 224	335, 914	333, 732	0	333, 732	0
人件費	正規職員以外	22, 093	29, 996	31, 957	27, 411	20, 551	17, 149	18, 159	0	18, 159	0
	小計	349, 904	401, 091	409, 374	392, 606	386, 775	353, 063	351, 891	0	351, 891	0
国庫	支出金	0	0	0	0	0	0	2, 326	0	0	0
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市	債	0	0	9, 800	0	0	0	5, 500	0	0	0
そ(の 他	14, 059	35, 577	18, 766	33, 768	28, 922	32, 145	32, 732	0	32, 732	0
一般財源	(税等)	156, 868	103, 881	156, 144	113, 487	131, 206	98, 369	128, 542	0	136, 368	0
所要人数	正規職員	42. 26	47. 84	48. 48	46. 91	47.00	43. 11	42. 83	0.00	42.83	0.00
(人)	正規職員以外	6. 67	8. 72	9. 54	8. 50	7. 00	6. 72	8. 01	0.00	8. 01	0.00
主な予算	草内訳	管理委託料	81,476千円、	手数料 48,048	3千円、自動車	修繕料 10,19	1千円 等				

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	選別する資源の品目数		目標値	20	20	20	20	20
>-		品目	実績値	18	18	18		
活動指標			達成度(%)	90%	90%	90%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	選別した資源物の量		目標値	2000	2000	2000	2000	2000
4-		t	実績値	1944	1840	1999		
果			達成度(%)	97%	92%	99%	%	%
成果指標			目標値					
保			実績値					
			達成度(%)					

- 3-3/4 - HT III						
評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	0	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	0	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)		達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	0	見直しが必要

	D4 . 74 . 4	T (177 11 HVH)	· III-7		
市	充実				
事業内容の	現状維持			0	
容の	縮小				
方 向 性	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投え	人の方向性	

担当課評価の根拠	事業を行うことにより、焼却ごみの削減を図ることができる。
見直し・改善内容	さらに再資源化できるものがないか検討する。